

將棋新定跡

特257

184

333

22



始



特 257
184

八段花田長太郎著

將棋新定跡

東京 大阪屋號發行



盤面圖解

一ノ一	一ノ二	一ノ三	一ノ四	一ノ五	一ノ六	一ノ七	一ノ八	一ノ九
二ノ一	二ノ二	二ノ三	二ノ四	二ノ五	二ノ六	二ノ七	二ノ八	二ノ九
三ノ一	三ノ二	三ノ三	三ノ四	三ノ五	三ノ六	三ノ七	三ノ八	三ノ九
四ノ一	四ノ二	四ノ三	四ノ四	四ノ五	四ノ六	四ノ七	四ノ八	四ノ九
五ノ一	五ノ二	五ノ三	五ノ四	五ノ五	五ノ六	五ノ七	五ノ八	五ノ九
六ノ一	六ノ二	六ノ三	六ノ四	六ノ五	六ノ六	六ノ七	六ノ八	六ノ九
七ノ一	七ノ二	七ノ三	七ノ四	七ノ五	七ノ六	七ノ七	七ノ八	七ノ九
八ノ一	八ノ二	八ノ三	八ノ四	八ノ五	八ノ六	八ノ七	八ノ八	八ノ九
九ノ一	九ノ二	九ノ三	九ノ四	九ノ五	九ノ六	九ノ七	九ノ八	九ノ九

はしき

従来と變つた新しい定跡で初心者に容易に會得し易く、同時に又有段者にも有益なる参考書を作つて欲しい、といふのが書肆の要求であるが、大體力の強い者にも弱い者にも同様に理解させるといふことは甚だむづかしい、殊に斯道未熟の私には無理な重荷かも知らぬ。其結果この定跡も簡単なやうに見えても其實極めて複雑な點もあるかも知らない、それに定跡は決して一定不變のものではなく、研究の進歩に従ひ改良すべきものである、現に自分がこの書執筆中にも、更に新しい定跡を考へ出して居る、それ等は本書改版の折か或は別に一本を編みもつと解り易く説きたい、殊に大駒落戦と平手相懸戦には一段と力を注ぎたいと思ふてゐ

る、讀者諸士の諒とせられんことを乞ふ次第である。

昭和二年二月

著者しるす

目次

六枚落 (俗に金銀居飛車端崩)	其の一	一	同	(五五歩留)	其の三	四七
同 (棒銀崩)	其の二	四	飛香落	(上手角替 俗におみき指し)		五〇
五枚落 (右桂除 俗に片桂)		八	飛車落	(上手三三桂受)		五七
同 (右桂除 上手六三金上り) 其の二		一五	角落	(櫓組 上手六二飛廻り 下手居飛車)		六五
同 (左桂除 二一桂除)		一九	左香落	(上手端飛廻り)		七五
四枚落 (棒銀端崩 俗に兩桂)	其の一	二四	同	(本定跡組上手三三飛廻り) 其の一		八三
同 (上手二二金留)	其の二	二九	同	(本定跡變化上手二五桂跳れ) 其の二		八九
三枚落 (右香除)		三一	同	(上手四間飛車 最近の三四銀)		九三
二枚落 (銀多傳)	其の一	三五	同	(上手中飛)		一〇〇
同 (銀多傳)	其の二	四三	同	(上手七筋飛車の急早指し に対する 下手方の受方)		一〇三

右香落 (下手六六角上り)	一〇七	同	(中飛車の受方)	其の一	一五一
平手相掛 (最近の定跡)	一一一	同	(中飛車の受方)	其の二	一五六
(横歩取り先手指よし)	一二六	同	(中車飛の受方)	其の三	一六一
(最近横歩取りの受方)	一三〇	同	(袖飛車)		一六五
(相掛五一金寄りの對抗法) 其の四	一三三	同	(半櫓圍ひ)		一七〇
(相掛り後手方八二飛引) 其の五	一三六	同	(櫓早崩法)		一七五
平手 (居飛車四間)	一三三	同	(腰掛銀)		一七九
(相四間飛車 腰掛銀の戦法)	一三六	同	(棒銀の受方)		一八三
(向飛車)	一三九	同	(筋違角)		一八九
(石田の受方)	一四三				
(石田の受方)	一四七				

將棋新定跡

第一章

六枚落 (俗に金銀) (其の一)

居飛車端崩

六枚落定跡は大低左の端から角を捨てる含みで崩しますが、之れは後に角を打込れる手が出来て、初心者にとつては、なか／＼苦心を要します。其れにどうも色々の受方があつて、その變化を調べるにも骨が折れます。茲に説く定跡は最近右崩しの定跡を改良したも

八段 花田長太郎著

ので、如何なる初心者にも紛れ少く解り易い戦法であります。

先づ最初の駒順は左の通りであります。

図四二五

は一番手廣い受方で敵が何れの方面から攻めて来るか、先づ模様を見ます。

図二六歩 図二二銀 図二五歩

と突く手は端を攻撃する場合に、上手方が二四歩、二三金と上つて防備を堅くするのを

せぬ様、先づ二五の位を占めるのであります。

先三二金銀一六歩先三四歩後一五歩先三三

金銀七六歩先四四歩後一六歩先四三王銀一

八飛(第一圖面)

(第一圖面)

(圖は一八飛迄の局面)

(下指手駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
						香	歩	飛
香	香	香	香	王	香		歩	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	

(しな駒持手下)

と目的通り
指します、
此時上手第
一、二四歩
と突く手と
第二、五四
歩と指して
端を其儘捨

て、置く手があります、先づ第一から説きま
すが其前に右指手中の上手三四歩の變化を解
説致します
右指手中上手三四歩の處 端を極力守るため
に△三一王と引けば、矢張り▲一五歩△二一
王▲七六歩△五四歩(此の手は五五角と出ら
れ、次に四六へ引かれるのを嫌つた意味で
す)▲六六角△八二銀▲五六歩△六二金▲一
六香△七四歩▲一八飛△一二王▲五七角と引
いて以下▲一四歩と突けば潰滅です
第一戦法(第一圖面の場合)
先二四歩先一四歩先同歩先同香先二三金銀

第二圖面

(圖は二二香成迄の局面)

(下指手駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
						香	歩	飛
香	香	香	香	王	香		歩	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	

(歩駒持手下)

四飛先三三王先四二銀先三三王先二二飛成
先同王先四四角先二三王先三三角成

迄で下手勝であります。

右指手中第二圖面の場合上手一四歩と打たず

二二香成
(第二圖面)
先一、二四歩
二成香先
同金銀一
四飛先一
三香先二
に△一三歩と受ければ▲二四歩△同金▲二二
成香△一四歩▲二八飛△二五歩▲三六銀打で
次に二五へ進んで下手必勝であります。
第二戦法(第一圖面の場合)
先五四歩先一四歩先同歩先同香先三一銀先
一二香成先七二金先一三飛成先七四歩先二
四歩先同歩先二三歩(第三圖面)
打で次に二二歩と成つて と金で敵の金銀と
交換する意味に指せば飛 と成香の援助があ
つて下手大に指宜く必勝であります。總じて
兩大駒落から金銀の將棋には成歩を作つて敵
の駒と替へる方針で指せば宜しく、上手は歩

第三圖面

(圖は二三五歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
		龍						
		香						
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	

(しな駒持手下)

を持つのみ
で後に役に
立ちませ
ん、之れが
成香や成桂
と替へたり
すれば下手
の金銀以上

に活用されま
すから能々此
の意味を含ん
で指さなければ
なりません。
六枚落右崩し
の戦法には上
手方にもう一
つの受方あり
ます。

六枚落 (其の二)

棒銀崩

上手方が初に二五歩の位を嫌つて、二四歩と突き金を二三へ繰り上つて受る指方があります。之れは上手方が初めに

図二二銀

と受けるのであります、其時下手方は二六歩と飛先の歩を急がないで、先づ

図七六歩

と角道を開けて様子を見ます、此時上手敵が何れの方面から攻めて来るか不明ですから

図七二金

と左翼を守らなければなりません(此處三二金と右のみへ努力すれば▲六六角△八八銀▲九六歩と左から攻めれば宜しいのであります、此の指

第四圖面

(圖は二五歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	

(しな駒持手下)

す、此の指方は第三戦法として後に説きます(下手方は角道を開けてから次の様に指し

ます。

▲二六歩 図二四歩 図三八銀 図三二金 図二七銀 図二三金 図二五歩 (第四圖面)

第五圖面

(圖は二六銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	

(しな駒持手下)

でありまし
て直ぐ▲三
六銀と出て
も△三四歩
▲二五歩△
三三銀▲二
四歩△同銀
▲一一角と

成つて有利の局面となりますが直接二筋を破壊する事が遅れます。此時上手第一、二五同歩と取る手と第二、一四歩と突く手がありま
す、先づ第一から説きます。

第六圖面

(圖は三六銀引の局面)

(千嶋持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
				王			香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	

(しな駒持手下)

第一戦法

(第四圖面)

の場合)

- 二五同歩
- 銀(第五圖面)
- 一四歩

二五銀(先)一三銀(後)二四歩(先)二二金(後)三六銀引(第六圖面)

第七圖面

(圖は二四歩迄の局面)

(千嶋持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
				王			香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	

(しな駒持手下)

上手防禦の策なく、下手二三歩成りで全滅であります。右指手中第五圖面の時

上手一四歩と指さず△三四金なれば▲二五銀△同金▲同飛△二三歩▲二一金と打たれて

受けがありません。

第二戦法(第四圖面の場合)

- 先一四歩(後)三六銀(先)一三銀(後)二四歩(先)同銀
- 後二五歩(先)一三銀(後)三五銀(先)二二金(後)二四歩(第七圖面)

突出して上手潰滅であります。

第三戦法(上手七、二金の處)

- 先三、二金(後)六六角(先)八二銀(後)九六歩(先)七二金(後)九五歩(先)八四歩(後)同角(先)八三金(後)六六角(先)七四歩(先)八六歩(先)七三銀(後)八五歩(先)六二王(先)八八飛(先)七二王(後)八四歩(第八圖面)
- 先八二金(後)九四歩(先)同歩(後)同香(先)九三歩(先)

第八圖面

(圖は八四歩迄の局面)

(千嶋持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
				王			香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	
		香					香	

(しな駒持手下)

八三歩成(先)同金(後)九三香成(先)八四歩(後)九八飛(先)第九圖面

に飛車を成込めば勝算確實です。此の指方は上手三、二金が無意味になりますから、下手大に指良いのであります。

右指手中上手三、二金と上らずに△四二王でも

第一戦法(第二圖面の場合)

先七三銀先九六歩先四二王先六八銀先三二王先八五歩先同歩先同桂先八四銀先九三桂成先同金先八四角先同金先同飛先四二銀先

第三圖面

(圖は八二飛迄の局面)

(手毎駒持手下)



(歩歩銀金駒持手下)

面) 迄で下手以下成歩を製造して敵王を攻めれば自然の勝で

あります、以下の寄せ手順は終盤の研究として後に説きます。

右指手中上手四二王の處△五二金なれば直に

▲八五歩△同歩▲同桂△八四銀▲九三桂成△

第四圖面

(圖は五七角迄の局面)

(手毎駒持手下)



(しな駒持手下)

▲同王△六 成△六一角 ▲七二銀打 △六九桂成

二金打▲六一銀成△同金▲七二金打で下手必勝であります。

第二戦法(第二圖面の場合)

先六二王先九六歩先五二金先九五歩先六三

第五圖面

(圖は九四歩迄の圖面)

(手毎駒持手下)



(歩歩駒持手下)

金先五八 金左先六 五歩先五 七角(第 四圖面) 先六四金 先八五歩 先同歩

同桂先八四歩先九三桂成先同銀先九四歩

(第五圖面)先同銀先八四角先七三桂先九三

第六圖面

(圖は八四金迄の局面)

(手毎駒持手下)



(三步駒持手下)

角成先同 金先八二 飛成先六 三王先九 三龍先八 五銀先八 四金(第 六圖面)

打迄で敵王を攻めれば必勝確實であります

す。

右指手中第四圖面の時上手六四金と上らずに七五歩と突き呉れ金を自由に利かす指方もあります、之れは第四戦法として申述べます。

第七圖面

(圖は九六歩迄の局面)

(下指手駒の陣)

九八七六五四三二一

				桂	王	香				
				香	香	香	香	香	香	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		

一二三四五六七八九

(しな駒持手下)

第五圖面の時上手九四同銀と取らずに△八二銀と引けば▲八五歩△同歩▲九三歩と成る手

があります。

第三戦法(上手八四歩の處)

先七四歩後六六角先八二銀後九六歩(第七圖面)先六四歩後五六歩先七三金後九五歩

第八圖面

(圖は八八飛迄の局面)

(下指手駒の陣)

九八七六五四三二一

				桂	王	香				
				香	香	香	香	香	香	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		

一二三四五六七八九

(しな駒持手下)

先八四歩後八六歩先八三金後八八飛(第八圖面)で第一及び第二戦法と

同様の指方で攻めて下手必勝です。

右指手中第七圖面の時上手六四歩と指さずに△七三金なれば▲九五歩△六四金▲九二飛△六五金▲七七角△五二金▲九四歩△同歩▲同

第九圖面

(圖は七六銀迄の局面)

(下指手駒の陣)

九八七六五四三二一

				桂	王	香				
				香	香	香	香	香	香	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		

一二三四五六七八九

(歩駒持手下)

飛△九三歩▲九五飛△七五歩▲九二歩打で以下▲九一歩成るの意味で下手大に優勢です。

第四戦法(第四圖面の場合)

先七五歩後同角先七四金左後五七角先六三王後七八銀先七三銀後八七銀先六四金後七五歩先五四歩後七六銀(第九圖面)先四二銀

第十圖面

(圖は七四同歩迄の局面)

(下指手駒の陣)

九八七六五四三二一

				桂	王	香				
				香	香	香	香	香	香	香
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香		

一二三四五六七八九

(三歩金駒持手下)

先六五桂後六二銀先八五歩先同歩後同銀先六五金後七四銀先同金後同歩

(第十圖面)

迄で以下飛車の成込で下手必勝です。右指手中第九圖面の時上手四、二銀と上らずに△五五歩と突けば▲三五角△六二銀▲五五歩△同金▲八五歩△同歩▲同銀△六六歩▲七四銀△同金▲同歩迄で下手必勝です。

(第三圖面以下の攻方研究)

△三四歩△四八金△三一金△七五歩△同歩△七四歩△七六歩△七三歩成(第十一圖)

迄で以下六二との活躍で王に肉迫すれば必勝です。

右指手中上手三、一金は五二金打△同金▲四一

上手から△七六歩と進まれ以下△七七歩成りで△五七桂打の手がある故下手初に▲四八金と要心してから着手したのです。

(第十一圖面以下の寄手)

第十二圖面

(圖は○。○。銀打迄の局面)

(王手寄手飛車桂馬)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
						王	桂	
						と	銀	
						垂	垂	垂
						垂		
歩	垂		歩					
			歩	歩				
			歩	金				
香			王	銀			桂	香

(銀金駒持手下)

- △五四角
- △七一龍
- △二七角
- △六一成
- △一四と
- △五二歩
- △三三と
- △四一銀

第十一圖面

(圖は○。○。二歩成迄の局面)

(王手寄手飛車桂馬)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
							王	
							桂	
							垂	
							垂	
							垂	
歩	垂		歩					
			歩	歩				
			歩	金				
香			王	銀			桂	香

(歩銀金駒持手下)

(歩銀金駒持手下)

銀打を防ぐ手であります。(此處金を寄らずに△五四角と打つては▲七一龍△二七角成▲二二歩打順となります)下手七五歩は、金を作る為に突き呉れるのでありまして、總て成歩を製造して敵を攻める事は一番得策で尤も早い指方であります。(此の▲七五歩突きは後に

金△二二銀引△三一金△同銀△二四歩△同歩△三一龍△同王△二三銀打(第十二圖面)迄で上手凌ぎなく必死であります。

(其の二)

五枚落上手六三金上りに對しての下手方の攻撃法は七九銀を九六へ繰上つて指せば宜敷いのでありまして之れは實戦に尤も多く現はるゝ形であります。

△七二金△七六歩△八四歩△六六角△八三金△八六歩△六四歩△五六歩△五二金△八八飛△六三金△七七桂△八二銀△九六歩

第十三圖面

第十三圖面

(圖は九六歩迄の局面)



(しな駒持手下)

此時上手第一、七四歩と突く手と第二、七四金左と上手がありす。

圖面の場合)

第一戦法 九六歩 九五歩 九四歩 九三歩 九二歩 九一歩 八八歩 八七歩 八六歩 八五歩 八四歩 八三歩 八二歩 八一歩 八〇歩 七九歩 七八歩 七七歩 七六歩 七五歩 七四歩 七三歩 七二歩 七一歩 七〇歩 六九歩 六八歩 六七歩 六六歩 六五歩 六四歩 六三歩 六二歩 六一歩 六〇歩 五九歩 五八歩 五七歩 五六歩 五五歩 五四歩 五三歩 五二歩 五一歩 五〇歩 四九歩 四八歩 四七歩 四六歩 四五歩 四四歩 四三歩 四二歩 四一歩 四〇歩 三九歩 三八歩 三七歩 三六歩 三五歩 三四歩 三三歩 三二歩 三一歩 三〇歩 二九歩 二八歩 二七歩 二六歩 二五歩 二四歩 二三歩 二二歩 二一歩 二〇歩 一九歩 一八歩 一七歩 一六歩 一五歩 一四歩 一三歩 一二歩 一一歩 一〇歩 九歩 八歩 七歩 六歩 五歩 四歩 三歩 二歩 一歩

(第十三

第十四圖面

(圖は三四歩迄の局面)



(しな駒持手下)

三銀九六銀三四歩(第十四圖面)八歩

必勝であります。以下の寄手は次の如くです

(第十五圖面以下の寄手研究)

第十五圖面

(圖は九八飛迄の局面)



(三步銀駒持手下)

五五歩 八三と 六三金 九二飛 成三三 王七四 歩同金 寄八四

と先五六歩 四八角 六四金 七四と 同金 寄九三角 成八四 銀七馬 五七歩

成五八歩 六六と 六八歩 六六と 五二龍 六四金 寄六一馬(第十六圖面)

第十六圖面

(圖は六一馬迄の局面)



(歩歩銀駒持手下)

迄で下手六三龍と五一馬の活躍ある故勝利であります。右指手中下手七八銀は飛角桂の攻

角銀桂を協力せば破壊が容易であります(此

の▲七八銀を繰上らずに直ぐ▲八五歩と突いては△同步▲同飛の時△七五歩と突出され▲同角なれば△七四金の進みあり▲又同步なれば△七六歩打あり、尙又▲同飛なれば△七四金で飛車の威力を減殺されますから、いづれにしても此の場合の攻撃はよろしくありません尤も上手△八二銀の形でなく△七三銀の局面に對しては▲八五歩△同步▲同桂でよろしいから此の意味を含んで 銀を繰上るか、上らなくつてもよいかの見極めが肝心であります)上手 七五歩は 角道を止めて八筋を守るためで已むを得ない當然の手であります。

(何故なれば▲八五歩の時△同步と取つては▲同桂△八四銀▲四六角と上られる手順となります)上手五四歩の處 八五歩なれば 同銀 八四歩 七四銀の形となつて上手大いに悪い。

(第十三圖面の場合)

第二戦法 ⑧七四金左⑨九五歩⑩五二王⑪七八銀⑫六五歩⑬五七角⑭三四歩⑮八七銀⑯五四歩⑰九六銀⑱四二銀⑳七五歩㉑六四金㉒八五歩(第十七圖面)㉓七四歩㉔八四歩㉕七三金⑥八五桂⑦八四金⑧八三歩⑨同金⑩七三桂成⑪八四歩⑫七四歩⑬七三銀⑭同步

第十七圖面

(圖は八五歩迄の局面)



- 成⑩同金
- ⑪八四角
- ⑫同金
- ⑬同飛
- ⑭七桂
- ⑮八金左
- ⑯四九桂成
- ⑰同王

- 六三金引⑧七五桂⑨七三金より⑩八二飛成
- ⑪六二金⑫七四歩⑬七二金⑭六三銀⑮同金
- 右⑯同桂成⑰同王⑱七三金⑲同金⑳同步成
- ㉑五三王㉒六二龍㉓四四王㉔四二龍 (第十

八圖面

第十八圖面

(圖は四二龍迄の局面)



迄で下手陣
であります

第三章

五枚落 左桂除 (二桂除)

五枚落左桂除の場合には上手の左が手薄

になつてゐますから、下手は右から攻撃しなければなりません、其れには色々の攻方がありますが一番紛れの無い戦法は、居飛車棒銀端崩しが宜しいのであります。先づ初めの駒順は左の如くであります。

△三二金△二六歩△二二銀△二五歩△六二銀△三八銀△三四歩△二七銀△三三金△二六銀△四二王△一六歩△四四歩△一五歩△四三王△七六歩△五四歩△一六香 (第一局面)

と上ります之れは次に一八飛と廻つて端を攻める考へです、此時上手第一、二四歩と突き

第一局面

(圖は一六香迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	飛	桂	香
歩	歩	角	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(しな駒持手下)

金を二三へ移して端を守る手と、第二、五三銀と指して銀を繰上げると手がありません。先

づ第一から解説致します。

右指手中上手二、二銀の處二四歩と突く手がありませんが、之れは第三戦法として申述ます。

第一戦法(第一局面の場合)

△二四歩△同歩△同金△三五銀△同歩△二四飛△三三銀打△三四金△三二王△二二飛成△同銀△四四角(第二局面)

第二局面

(圖は四四角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	角	金	王
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(歩歩銀駒持手下)

面以下の寄手)

と出て下手大に優勢であります。以下の寄せ手は左の結果となりま

(第二局面)

△三、一銀△三三角成△四一王△四三金△四二歩△三二銀△五一王△三一銀不成△七一銀△五三金△六二金△四二銀成△六一王△四三馬△七二王△五二成銀△同金△同馬△八二王△六二銀△七二銀上る△六三金△同銀△同馬△七二金△七一銀打迄で下手勝であります。右指手中第二局面の場合、三、一銀と引かずに△二八飛と打てば▲二三歩△同飛▲同金△同王▲二四歩△三二王▲二三角成△同王▲二三飛△三一王▲三三飛成で詰みです。又三、一銀の處二八飛と打たずに△五二金と上れば▲二二

角成△四一王（此處△四二王と逃げれば▲三馬△五三王▲四四馬△四二王▲四三銀打で詰みとなります）△五一王▲五二銀△同王▲四三馬で寄りであります。

第三圖面

（圖は二二成香迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	飛	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	角	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

（歩銀駒持手下）

第二戰法

（第一圖面

の場合）

- 先五三銀
- 後一八飛
- 先二四歩
- 後一四歩
- 先同歩

第四圖面

（圖は二五歩迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	飛	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

（しな駒持手下）

- 銀先二三
- 金後二五
- 歩（第四圖面）
- 同歩後二
- 七銀先二
- 二銀後三
- 六銀先一

四歩後二五銀先一三銀後二四歩先二二金後三六銀（第五圖面）

第五圖面

（圖は二六銀迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	飛	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

（しな駒持手下）

六枚落の時と同様の意味で捌きを速かにするのであります。（直に▲二七銀と出ては△三二

- 引きで次に
- 二三歩成込
- みで上手全減であります。
- 右指手中
- 下手二五歩
- 突き呉れは

銀▲三六銀△三四歩▲二五歩△三三銀▲二四歩△同銀で面倒になります）上手 二二銀の處△三四金なれば▲三六銀△二六歩▲同飛△二四歩▲一六飛△二二銀▲二三歩打で以下飛車が成れますから下手勝であります。此の二五歩の早突きの戦法は畧ぼ六枚落の場合と同様ですが、只 七六歩の角道が開いてゐると、開いてゐないとの違ひがあります故に 二七銀と上る前に 二五歩の突き呉れが尤も大切でありますから此の點を能く含んで指さなければなりません。

第四章

四枚落(俗に兩桂) 其の一

棒銀端崩

四枚落の定跡には兩端攻め 棒銀指し 桂崩等色々ありますが、其内で一番紛れのない解り易い戦法は棒銀端崩しであります。左に説明する定跡は、最近實戦から得た経験で從來のを改良したものであります。

先六二銀 後二六歩 先三二金 後二五歩

と飛車先の歩を突くのは棒銀指しの趣向であります。

後三二銀

と受ける、此時下手

後七六歩

と角道をあけます、今迄の定跡では、茲で突きませんが、今日の實戦から得た研究では角道を通して置く方が變化が少なく紛れが無いと思ひます、即ち上手

先五四歩

と突いた時

後二四歩 先同歩 後同飛

と指せば

先五三銀

と上る一手になるのであります(角道をあけず)に▲二四歩と突くと△同歩▲同飛△二三金と上られて一寸面倒な變化になります。

後二八飛 後二三歩 後九六歩 後七二金 後九五

歩 後八二金

と寄せた策戦は敵金を牽制する為めです。若し上手が△八二金と寄せず▲九五歩を捨て、置けば▲九四歩△同歩▲九二歩打で、と金を作つて下手が大に指宜くなります。

後三八銀 後四四歩 後二七銀 後五二王 後三六

銀 後四三王 後一六歩 後三四歩 後一五歩 後六

四銀 後二五銀 後五五歩 後一四歩 後同歩 後一

二歩打(第一圖面)

第一圖面

(圖は二二歩打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	飛	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(しな駒持手下)

此時上手第一、七四歩と突く手と第二、三三金と上る手と第三、三三王と寄る手と第四、

二四歩と突く手があります。

第一戦法(第一圖面の場合)

先七四歩 後一四銀 先一三歩 後二三銀 成先同

銀△一歩成△三三桂△一三香成△二四銀
 打△一八飛△一三銀△同飛成△三五歩△一
 二と(第二圖面)

第二圖面

(圖は二と迄の局面)
 一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍

(三歩銀駒持手下)

落端崩しの主眼でありまして端を破るには銀

迄で次に
 二二との含
 みで指せば
 必勝であり
 ます。
 右の指手中
 下手一歩
 成るは四枚

の進撃と相待つて、歩の活用が最も必要で、
 應用の廣ひ手筋であります。

上手二、三銀成の處▲二五銀△八四歩▲二四歩
 △同歩▲同銀△二三歩▲一歩成△二四歩▲
 二一と△三三銀▲一三香成△八五歩▲二三歩
 打と指しても次に二三歩成で上手全滅であり
 ます。又上手二三銀成處、▲一歩成と指せ
 ば△一四歩▲二一と△一三銀▲一二歩△二四
 歩▲一歩成△二三銀と受けられてと金の捌
 きが悪く下手面白くありません。故に▲一一
 歩と成らずに二三銀と成り捨てる手が本筋で

あります。

第二戦法(第一圖面の場合)

△三三金△一四銀△二四歩△一歩成△同
 銀△二五歩△同歩△同銀△二二銀△三四銀

第三圖面

(圖は二六桂迄の局面)

(手駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍
香	桂	銀	金	王	金	王	銀	龍

(歩金駒持手下)

△三三王
 △三三銀
 △同銀△
 二二歩△
 二四歩△
 一八飛△
 一三歩△
 二一歩成

△一四銀△二六桂(第三圖面)

打で下手必勝です。
 右の指手中上手二、四歩の處(一三歩なれば
 二三銀成で第一戦法と同様になります)△三
 二王と引けば▲一歩成△同銀▲二三銀成△
 同金▲二四歩△同金▲同飛△二三歩▲四三金
 △二二王▲三四飛で下手勝です。

第三戦法(第一圖面の場合)

△三三王△一四銀△二四歩△一歩成△同
 銀△二五銀△同歩△一三香成(第四圖面)
 で以下桂を取り▲一八飛の含みで指せば必勝
 であります。

第四圖面

(圖は。一。香成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	王	香	香
歩	角	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(步銀駒持手下)

右指手中上
手二、四歩の
處△一三歩
なれば▲二
五銀△七四
歩(△四三
王と逃げれ
ば▲二四歩

と打たれて▲一歩成るの結果となります)

▲二四歩△七三桂▲二三歩成△同銀▲一歩成△二四歩▲三六銀で以下と金で桂を取り端を崩す含に指せば下手大に優勢となります。

第四戦法(第一圖面の場合)△二四歩△同銀△

二三歩△同銀成△同銀△一歩成△三三金
△二一と△三二王△二五桂△二四銀打△三
三桂成△同王△二五歩△三五銀△一三金△

第五圖面

(圖は。二。六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	王	香	香
歩	角	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(步駒持手下)

三二銀△
二二と△
四三銀△
二四歩△
二六桂△
二三歩成
△四二王
△三六歩

(第五圖面)

突きで下手大に優勢であります。此の末二六飛出で以下成込めば必勝です。

右指手中 上手 三五銀の處△一三銀なれば
▲五八金右と指して自王を堅め(直接には△
五六歩▲同歩△五七桂打を防ぐため)△七四
歩の時▲二二金打と攻めます△同銀▲同と△
同王▲二四歩△三二銀(△二四銀▲同飛△二
三金▲二八飛△二四歩▲三六銀△三三王▲二
五歩△同歩▲同銀△二四歩▲一四銀△同金▲
同香で以下▲一三香と成つて敵王を攻めて必
勝となります)▲二三銀△三三王▲三二銀成

△同王▲二三歩成△四三王▲二四飛△七三金
▲一四飛△二八歩▲一七桂△二九歩成▲二五
桂△一九と▲三三桂成△五四王▲一二飛成迄
で下手勝であります。

四 枚 落 (其二)

上手二二一金留

下手方に一二歩と打たれるのを嫌つて上手
二三金と防いだ場合下手は如何に攻めて良い
か、従來の定跡では不備の點がありますから、
最近實戦上から得たものを新定跡として解説
致したいと思います。

是迄が定跡で之れから戦闘に移ります。

先一四歩先同歩後同銀先一三歩後同銀成先同桂後一四歩先二四銀後一三歩成先同銀後同香成先同金後一八飛先一四歩後二五桂先

第七圖面

(圖は二六銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香

(歩歩駒持手下)

二四金後 一三桂成 先一五歩 二六銀 (第七圖面) と打つ手が 一五銀出と

先六二銀後二六歩先三二金後二五歩先四二王後二四歩先同歩後同飛先二三歩後二八飛先五四歩後七六歩先五三銀後三八銀先二二金後二七銀先三二王後三六銀先四二銀上る

第六圖面

(圖は七二金迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香

(歩駒持手下)

先一六歩 先四四歩 後一五歩 先四三銀 後二五銀 先七二金 (第六圖面)

二五歩打の含みがあつて非常に面白い手があります。此時上手一六香と防いで、一七へ歩を打たれますから左の如く指すより適当な方法がありません。

第八圖面

(圖は二四銀打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香
桂	飛	銀	王	香	香	香	香	香

(三步金駒持手下)

先二五香 後一五銀 先二七香 成先一九 飛先二五 金後一四 銀先三四 銀後二五

第五章

三枚落 (右香除)

三枚落には右香除きと左香除きがあります

が定跡としてはありません。それは四枚落と略ぼ同様に改めて良いからだと思ひます。然し右番除きの時には棒銀端崩しの應用では破る事が出来ませんから之れは寧ろ二枚落を真似て指す方が反つて初心の方には解り易いのであります。茲に説明する破壊策は二枚落の型を材料として三枚落にも最も適切に應用の出来る戦法であります。

図七二金 図七六歩

此時上手

図七四歩

と突くのは如何なる變化にも應用の出来る廣

い手であります。(此處 八四歩 八三金と受ける指方もありますが、ソレでは六筋が手薄になつて此の戦法に對しては禁物です)次に下手

図六八銀

と上ります、此の手は敵には一寸策戦を計り兼ねますが之れは五六銀と腰掛銀にする趣向であります。

図六二銀 図六六歩

と下手から角道を止めますが之れは一つの變つた戦法です。

図五四歩 図六七銀

図五二金 図九六歩 図六三金 左 図九七角 (第二圖面)

第二圖面

(圖は九七角迄の局圖)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香

(しな駒持手下)

此時、上手 第一、五二 王と指手と 第二、四二 銀と上る手 があります 先づ第一から解説致します。

第一戦法(第二圖面の場合)

此時上手捨て、置くと敵から▲六五歩と進ませ以下▲六六銀と位勝にされると上手の金銀の自由を束縛されますから

図六四歩(第一圖面)

第一圖面

(圖は六四歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香
香	桂	銀	王	銀	桂	香	香	香

(しな駒持手下)

と位を保たなければなりません。 図五六銀 図五三銀 図六八飛 図七三桂 図七七桂

先五二王後六五歩先同歩後同桂先同桂同
 銀先六四歩後四五桂先六五歩後五三桂成先
 同金後六一銀先同王後五三角成(第二圖面)

第三圖面

(圖は五三角成迄の圖面)

迄で下手勝
 であります
 右指手中上
 手同歩の處



(下打持駒金歩)

△同桂なれ
 ば▲同銀△
 同歩▲同桂
 △六四歩

(△六四銀と逃げれば▲五六桂と打たれます)

▲五三桂成△同金▲四五桂△六三金よる▲五
 三銀△四一王▲六四銀成迄で下手勝です。
 第二戦法(第二圖面の場合)

第四圖面

(圖は一五桂迄の局面)



(下打持駒金歩)

同飛先六
 四歩後二
 五飛先三
 一桂後一
 五桂(第
 四圖面)
 打で以下二
 三桂不成と

後四六歩

は次に四五歩と突いて角道を利用し、敵の金
 銀を自由に活動させぬ意味でありまして、二
 枚落には四筋の位が最も大切です。

第一圖面

(圖は四六銀迄の局面)



(下打持駒銀銀桂桂)

後五三銀
 後四五歩
 後七二金
 後五六歩
 後七四歩
 後六八銀
 後七三金
 後五七銀

第六章

二枚落(其の一)

銀多傳

指せば下手必勝確實であります。

二枚落の定跡には下手方色々の駒組があり
 ますが、一番確實で紛れのない戦法は、多傳
 です。左に解説する定跡は近來最も應用の多
 い銀多傳であります。

先六二銀後七六歩先五四歩

は金銀を繰上げ模様によつては角道を止める
 意味であります、此時下手

図五二王 四六銀 (第一局面)

と銀を早く繰上つて四筋を堅固に致します。

図六四歩 三六歩

は次に三五歩、三四歩の含みで金銀を早く牽制する意味であります。此時上手三二金と上り三五歩の時 二二銀と守る手があります。が、技では歩一つ持つ意味で左の如く指します。

図四二銀 三五歩 八四金 三四歩 三二二

金 三三歩成 同銀 三四歩 二二銀

と引き金銀を縛られて所謂ハコ銀になります。が上手方歩を持つだけに後に角頭を攻める味

ひがあつて變化に富んで居ります。

図五八飛 六三王 三八銀 七三桂 四七銀 (第二局面)

第二局面

(圖は四七銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						歩	歩	皇
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
			歩	歩	歩	歩	歩	
				歩	歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
						歩	歩	
							歩	

(しな駒持手下)

くありません。即ち▲五五歩△同歩▲五四歩

さなければなりません。

図八五金 四八王 七六金 七八金 八四歩 三八王 八五歩 九八香 (第三局面)

此時上手第一、八六歩と突き歩二つを利用し

第四局面

(圖は八八同飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						歩	歩	皇
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
			歩	歩	歩	歩	歩	
				歩	歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
						歩	歩	
							歩	

(三步金駒持手下)

て角頭を攻める手と第二、六五歩と指し角筋を止める含みで防戦する手とがあります。

(手駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						歩	歩	皇
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
		歩	歩	歩	歩	歩	歩	
			歩	歩	歩	歩	歩	
				歩	歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
						歩	歩	
							歩	

(しな駒持手下)

六五歩突さで下手に金銀がありますから、以下▲六四銀打込みで必勝となります、依つて次の如く指

(圖は九八香迄の局面)

△同銀▲五五銀△五三歩▲五四銀△同歩▲五五歩△六五歩(五五△同歩なれば▲同飛で金取り飛車成りとなります)▲五四歩△五二歩▲四四歩△六六歩▲同角△同金▲同歩△四二金▲

第一戦法(第三圖面の場合)

先八六歩同歩先八五歩同歩先八六歩同歩先七七金先八七歩成先七六金先八八と同飛

(第四圖面)

迄で以下 八四歩突出して上手全滅であります。

右指手中上手 八七歩成處△八七金なれば▲同金△同歩成▲六六角△九八と▲八四歩△六五香▲二二角成△同金▲八三歩成△六七成香▲七二銀△五二王▲七三と△五八成香▲六三銀成△四二王▲五二金△三二王▲五三成銀△二四歩▲三五桂打迄で下手勝であります。

第二戦法(第三圖面の場合)

先六五歩同歩四八金先二四歩同歩五五歩同歩先四四歩(第五圖面)

第五圖面

(圖は四四歩迄の局面)



(しな駒持手下)

歩と取る手と△三三歩打と守る三つの變化が

と攻撃する
手が多傳常
用の手であ
りまして此
時上手 六
六歩と角道
を止める手
と 四四同

あります。以下の指手は解り易く第三、第

四、第五戦法として順々に説く事に致します

第三戦法(第五圖面の場合)

先六六歩同角先同金同歩(第六圖面)先

第六圖面

(圖は六六同歩迄の局面)



(歩金駒持手下)

四四歩
六五歩
四三金
五五銀
五四歩
六四金
五二王
五三金

同金先五四銀先同金先同飛先五三銀(第七

第七圖面

(圖は五七銀迄の局面)



(三步銀金駒持手下)

圖面)
七四飛
八三金
七六飛
七五歩
五六飛
五四歩
六四歩

(第八圖面)先同銀先五四飛先五三銀先五九

飛先五四歩先五五歩先同歩先五四歩先同銀

先六四金先四三銀先五四歩

第八圖面

(圖は六四歩迄の局面)

(手毎囀封圭丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇				王			將	皇
	手	手	手	手	手	手	手	手
				飛				
歩	歩			銀	金	王	歩	歩
歩	香	金					桂	香
	桂							

(四歩銀金駒持手下)

四歩は金銀を捌く意味でいつまでもハコ銀にして置いては不利益であります。第六圖面の時上手四四歩と取らずに 六四歩と打つて六五歩の進みを嫌つても矢張り▲六五歩△同

迄で下手勝

であります

右指手中

下手四八金

は王の堅め

で安全を期

する為めで

す。上手二

歩▲五五銀△五四歩▲六四歩△七二王▲五四銀で指良くなります。又第六圖面の場合△四四銀と取つても▲六五歩△同桂▲六六歩打で宜いのであります。下手六五歩突出しは王頭を攻めて五筋の手薄に乗ずる巧妙な手段で、多傳には最も大切な常用の手であります。此の手は下手角を捨てた時己に含んでゐましたので上手に採つては厭な手でありまして、如何に防禦しても受け切れません(第七圖面)上手五三銀と打たずに△五三歩と守れば▲六四飛△六三歩▲四四飛△四三歩▲四一銀△六二王▲四三飛成で下手必勝です。第八圖面の時

上手 六四同銀と取らずに△六二歩と受けられ

ば▲三二銀打で勝利確實です。

第四戦法(第五圖面の場合)

先四四同歩後五五銀先五四歩後四四銀(第九圖面)

第九圖面

(圖は四四銀迄の局面)

(三手囀封圭丁)

五	八	七	六	五	四	三	二	一
皇							將	皇
	手	手	王	手			手	手
				銀	歩			
歩	歩	歩	歩	銀	金	王	歩	歩
歩	香	角	金	飛	金	王	桂	香
	桂							

(歩歩駒持手下)

- 九圖面
- 先六六歩
- 後五三銀
- 先同王後
- 五五歩先
- 同歩後五
- 四歩先六
- 三王後六

第十圖面

(圖は六六歩迄の局面)

(四手囀封圭丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇							將	皇
	手	手	王	手	手		手	手
				歩				
				歩				
歩	歩			銀	歩		歩	歩
歩	香	角	金	飛	金	王	桂	香
	桂							

(歩銀駒持手下)

- 先六四銀
- 後六二王
- 先五五飛
- 先五二歩
- 後四四歩
- 先四二金
- 後七七金

圖面)

迄で以下金の打込みで下手勝です。

右指手中 第九圖面上手六六歩と突かずに四

第十一圖面

(圖は七七。金迄の局面)



(步駒持手下)

王▲四五步打で下手必勝です。上手 六三王の處五四歩△同王なれば▲四六銀と出て次に△六四又は△四四か△五六へ銀を打つても▲四五銀打で以下五五飛の順となつて下手勝であ

四銀△同銀

なれば▲同角

△五三銀▲

同角△同王

▲四五銀△

四三金▲四

四歩△同金

▲同銀△同

ります。第十圖面の時上手四三金と指さずに

△六九銀と指せば、▲五五飛△七八銀成▲五

三歩成△七二王▲六四銀△八八成銀▲六三と

△八三王▲七三と△八四王▲五二飛成△八七

成銀▲九六歩△八一金▲七四と△同王▲六三

龍△八四王▲七三龍迄で勝です。下手二度目

の六六歩の處△五四金なれば▲五五角と出れ

ば上手潰滅します。

第五戦法(第五圖面の場合)

○三三歩打△三七桂○三四歩△五五銀△五

四歩△四三歩成△同金△五四銀△同金△二

二角成(第十二圖面)

二枚落 (其の二)

銀多傳

銀多傳變化中初め下手方 三五歩と突いた時 上手二二銀と受けて防禦した場合の攻撃法を説明致します。

○六二銀○七六歩○五四歩○四六歩○五三

銀○四五歩○七二金○五六歩○五二王○六

八銀○三二金○五七銀○七四歩○四六銀○

六四歩○三六歩○七三金○三五歩○二二銀

○五八飛○六三王○三八銀○八四金○四七

銀○七三桂○三七桂○八五金○四八王○七

第十二圖面

(圖は二二角成迄の局面)



(三步銀駒持手下)

法の主眼ですから下手方は能く其の味ひを含んで指さなければなりません。

迄で下手勝

利確實であ

ります。

以上説いた

多傳は下手

角を捨て▲

六五歩突出

しが此の戦

六金○七八金○二四步○三八王○二三銀○
 二六步○八四步○五五步○同歩○同飛○五
 四步○五九飛○八五步○九八香○九四步○
 四八金(第十三圖面)

第十三圖面

(圖は四八金迄の局面)

一二三四五六七八九

(手駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						将	皇	皇
			王	将	将	将	将	将
将	将	将	将	步	步	步	步	步
			香	銀	銀	桂	王	香
步	角	金		飛				
步	香							
桂								

迄で駒組みが出来上り
 ました、此時上手 第一、六五歩と指す手と
 五歩と模様

を見る手と 第三、四二金と寄つて五筋の守備を補ふ手とがあります。
 右指手中 下手三七桂は敵の指方に依つては急戦の出来得る様にして置くのです。
 即ち△六五歩と突けば▲五五歩と仕掛け第一變化通り指せるからです 下手九八香上りは△八六歩▲同歩△八七歩と打たれた時▲九九角と引いてあく迄も敵陣へ角筋を通すためです。

第一戦法(第十三圖面の場合)

先六五歩○五五歩○同歩○同銀○先五四歩○同銀○先同銀○五五歩○先五三歩○先五四歩○同

歩○先五五歩○先六六歩○先五四歩○先五二歩○先六角○先同金○先同歩○先四二金○先六五歩○先六二銀○先六四金○先七二王○先七四金○先六三銀○先三銀○先六二王○先六四歩(第十四圖面)

第十四圖面

(圖は七四金迄の局面)

一二三四五六七八九

(手駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						将	皇	皇
			王	将	将	将	将	将
将	将	将	将	步	步	步	步	步
			香	銀	銀	桂	王	香
步	角	金		飛				
步	香							
桂								

で下手方必勝です。
 第二戦法
 (第十三圖面)
 先九五歩
 先五五歩
 先同歩

先同歩

四四歩○先同銀○先五五銀○先同銀○先同角○先五四歩○先九九角(第十五圖面)
 先五三銀○先四五桂

第十五圖面

(圖は九九角迄の局面)

一二三四五六七八九

(手駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						将	皇	皇
			王	将	将	将	将	将
将	将	将	将	步	步	步	步	步
			香	銀	銀	桂	王	香
步	角	金		飛				
步	香							
桂								

(第十六圖面)
 先六五歩○先四三歩成○先同金○先四四歩○

先四三歩成○先同銀○先五三金

第十六圖面

(圖は四四步迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						歩	皇	皇
		歩	王	歩	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	銀	金	王	歩	歩
		歩	歩	金	歩	飛	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩

(銀駒持手下)

打迄で下手勝です。

右指手中

上手 四四

同銀の處△

▲同步と取

れば▲五五

銀△五四歩

歩と打たれます) △七五金と引いて、五筋の

受けを捨て、置く) ▲四四歩△五三銀打(△

同步なれば▲同角△五三銀▲七二銀△五二王

▲五三角成△同王▲四五桂で下手勝となりま

す) ▲四五桂△四四銀▲同角△同步▲五二銀

打△同王▲五四飛△四一王▲五三桂成△三一

王▲四三歩打で下手必勝です。上手△六二銀

の處△四二金と寄れば▲二五歩△同步▲二二

歩打があります。第十六圖面の時上手六五歩

と指さずに△四四歩と取れば、▲同角△四三

金▲六二角△同王▲四四歩△四二金▲四三銀

打で以下 下手五四飛出の含みある故勝です

第三戦法(第十三圖面の場合)

図四二金△二五歩△同歩△二二歩(第十七

第十七圖面

(圖は二二歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇							歩	皇
		歩	王	歩	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	銀	金	王	歩	歩
		歩	歩	金	歩	飛	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩
		歩	歩	桂	歩	歩	歩	歩

(しな駒持手下)

圖面) △

三二銀△

二二歩成

△同銀△

三四歩△

三二銀△

二五桂

迄で上手全

二枚落 (其の三)

五五歩留

多傳を會得しましたら△五五歩留めに對し

如何に指す可きかを知らなければなりません

ん、此の戦法は上手多傳を嫌つて初め△五五

歩と突くのでありまして、又一つには始終

角を 一一へ狙まれて、金銀を牽制されては

指悪くなりますから其れを防禦する意味も含

まれてゐます。

図六二銀△七六歩△五四歩△四六歩△五三

銀△四五歩△五五歩△四八飛(第十八圖面)

減です。下手方の▲二六歩は△四二金と寄り
れた時の用意です。

第十八圖面

(圖は四八飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将	将	王	将	将	将	将	皇
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	金	王	桂	香

(しな駒持手下)

四八飛△三四銀と引かれて面倒な變化になります。

図五四銀 図三八銀 図四二銀 図三六歩 図五三銀 図三七銀 図五二金 右 図四六銀 図六四銀

と廻りま

す、此の手

が一番穩な

方法で▲同

角と歩を取

ると△五四

銀▲八八角

△四五銀▲

五八金右 図五三金 図六八銀 図三二金 図七七

銀 図六五銀 左 図六六銀 (第十九圖面)

第十九圖面

(圖は六六銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将	将	王	将	将	将	将	皇
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	金	王	桂	香

(しな駒持手下)

りませんから左の如く指します。

(第十九圖面の場合)

此時上手△

七六銀と歩

を取つては

▲七八金と

受けられ以

下▲五五銀

と替られる

と面白くあ

第二十圖面

(圖は八八角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将	将	王	将	将	将	将	皇
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	金	王	桂	香

(銀駒持手下)

図六六銀 同角 図五四金 図八八角 (第二十

圖面)

と引く手が

良い手であ

りまして此

の時上手第

一、六五

銀と打手と

第二、七

四歩と突いて桂を捌く手とがあります。

第一戦法(第二十圖面の場合)

図六五銀打 図八二銀打 図七四歩 図八一銀成

第二十一圖面

(圖は八四成銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将	将	王	将	将	将	将	皇
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	金	王	桂	香

(歩香桂駒持手下)

迄で下手桂

香徳になつ

てゐますか

ら此末七

四歩打の含

みで指せば

必勝です。

右指手中

下手八、二銀打は桂香二枚手に持てば攻防に活用
用廣く充分に堅く指す事が出来ますから此の手は
二枚落の尤も大切な常用の巧手です。

第二戦法(第二十圖面の場合)

第二十二圖面

(圖は六四銀打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	香						桂	香
香	香	香	香	王	香	香	香	香
		香	香					
		香	香	角	歩			
		歩	歩			歩		
歩	歩	歩	歩	歩	飛	歩	歩	歩
				金	王			
香	桂	金	王				桂	香

(歩銀金駒持手下)

- 先七四歩
- 先六六銀
- 先五二王
- 先五五銀
- 先同銀
- 先同銀
- 先同銀
- 先六四銀

(第二十二圖面)先六四同角先同歩先五四銀
先六二銀先四四歩先同歩先五三銀先同銀
先六三金先四一王先五三銀成迄で下手勝です

第七章

飛香落

上手角替 五二王仲住居

(俗におみき指し)

飛香落には下手端飛廻り 棒銀指し 桂崩し引角等 色々の戦法がありますが、茲では今最も素人間に流行の仲住居に對し下手が如何に受けたらよいかを説きたいと思ひます。

第一圖面

(圖は一六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	香						桂	香
香	香	香	香	王	香	香	香	香
		香	香					
		歩	歩					
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
		角						
香	桂	銀	金	王	金			

(しな駒持手下)

- 先七二金
- 先一五歩
- 先六二銀
- 先五八金
- 右先八八
- 角成

で次の如く指します。

銀先三三銀先七七銀先五二王先六六歩

此時上手△七四歩と指せば、▲一四歩△同歩
▲同香△一三歩▲同香成△同桂▲四六角打が
ありますから

此の指方を俗に御造酒と稱へますが丁度金が
左右に分れておみきの形を致してゐるからで
あります。定跡としては精選などに詳しく説
いてありますが近來上手の指方が巧みになつ
てなか／＼定跡通り指さないのが下手が非常
に苦しんでゐます。

先三四歩先七六歩先三二金先四八銀先四二
銀先一六歩(第一圖面)

と端を突くのは敵がどう云ふ戦法で来るか不
明ですから形勢觀望の意味であります、端を
突いて置く手は飛香落では上手がどう變化し
ても應用が出来ます。此時上手おみきの考へ

先二三金

と端を守ります。

先六七金(第二局面)

第二局面

(圖は六七金迄の局面)

九 八 七 六 五 四 三 二 一

香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩

(角駒持手下)

と上り半橋
に組上げま
す。

先七四歩
先六八王
先七三銀
先七八王
先六四銀

先(第三局面)

第三局面

(圖は六八金迄の局面)

九 八 七 六 五 四 三 二 一

香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩

(角駒持手下)

と指し先づ
王を堅く護
り飛車先さ
の歩は後で
突きます、
此時上手第
一、七五歩
と突く手と

第二、七三桂と捌く手があります。
右指手中、下手五七銀の處▲二六歩△九五歩
▲二五歩△七五歩▲同歩△同銀▲二四歩△同

歩▲二五歩と定跡通り繼歩で破らうとすると
△四四角▲二四歩△二六歩打▲七六歩△六六
銀▲同銀△同角▲同金△二七銀と打手があつ
て下手が上手の策戦に陥る形となります、故

第四局面

(圖は八六歩迄の局面)

九 八 七 六 五 四 三 二 一

香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩

(歩角駒持手下)

に二筋の歩
は急がない
で王を早く
堅める方が
おみきに對
しての最上
策でありま
す。

第一戦法(第三局面の場合)

先七五歩先六五歩先同銀先七五歩先五四銀
先六六銀右先六四歩先五五歩先六三銀先七
六銀先七三桂先七七桂先八四歩先八六歩

第五局面

(圖は二五歩迄の局面)

九 八 七 六 五 四 三 二 一

香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	銀	歩	歩	歩	歩

(歩歩駒持手下)

(第四局面)
面)先四
四銀先二
六歩先三
三桂先三
一角先三
二金先一
三角成先

三五歩 図二五歩 (第五圖面)

迄で次に二四歩の突出しで下手優勢です。

右指手中 上手六五同銀の處△七六歩と取込めば▲同金 (▲同銀△七五歩▲六四歩△七六歩▲六三歩成△同金▲七二角△七三桂▲六一銀△六二王▲八三角成と指しても下手有利です) △七三銀 (△七五歩と打つては▲六六金△七三銀▲七五金と歩を只取られます) ▲七五歩△八四銀▲八六歩△四四銀▲二六歩△三三桂▲三一角と打たれて上手面白くありません、上手 五四銀の處其儘捨て置く▲五五歩で次に▲六六歩打の手順となる、上手六

三銀は△六五銀と進んでは▲五七銀引で悪く又△六五歩と強く指せば▲五四歩△六六歩▲五三歩成△同王▲六六銀で以下▲五八飛の模様があつて下手大に指良くなります、上手四四銀の處△四四歩なれば▲五六角△六五桂▲同桂△同歩▲同銀左で歩切のため上手自然に負となります。

第一戦法の指方は下手位勝ですから上手如何とも策の施し様がありません、要するにあみき指しは上手の銀を敵管へ追つて銀の働きを止めて終へば宜敷いのです。

第二戦法 (第三圖面の場合)

第七圖面

(圖は二四歩迄の局面)



(歩角駒持手下)

- ▲同飛 図四五角 図三三と 二七角成 図三四角 図六二王 図三二と (第八圖)

第六圖面

(圖は七六歩打迄の局面)



(角駒持手下)

- ▲同銀 図七六歩 (第六圖) 面) 図六四銀 図四銀 図五銀 図四歩 図三六歩 図四

四歩 図三五歩 図同歩 図同銀 図三四歩 図二四歩 (第七圖面) 図三五歩 図二三歩成 図二七歩

面)

迄で下手此末金銀で敵王を追撃すれば必勝です。右指手中下手八六銀は桂飛びの防ぎで上つて

第八圖面

(圖は二〇と迄の局面)



(三步銀金駒持手下)

置かないと
 △七五歩▲
 同歩△同銀
 ▲七四歩△
 八五桂で混
 戦に陥りま
 す。玆で桂
 に働かれて

せん、上手五、四歩は交換を嫌つたのと又次に
 五三へ引けば王の護りになるからでありま
 す。第七圖面の場合上手三五歩と銀を取る手
 は此の局面では已むを得ないでせう(二四△
 同歩と指しては▲同銀△同銀▲同飛と指され
 下手に角銀持たしては 八三金と 二二金の
 形が悪いため自然に敗戦となります)

(第八圖面以下の寄手研究)

⑨七、二王⑩五二角成⑪五九飛⑫六一銀⑬八
 二王⑭六、三馬(第九圖面)⑮二九飛成⑯七二
 銀不成⑰八四金⑱六四馬⑲七二王⑳六三金
 ⑳八三王㉑七三馬㉒九三王㉓八四馬㉔同王

は堪りません。第六圖面の時上手 六、四銀と
 指さずに 八四へ引いては▲五五歩△六四歩
 ▲五六銀と中央を位勝にされると以下▲七二
 角打の含みがありますから上手宜しくありま

第九圖面

(圖は六〇馬迄の局面)



(四歩金駒持手下)

⑮七三銀
 ⑯九三王
 ⑰八四金
 ⑱九二王
 ⑲七四桂
 打で上手凌
 ぎなく全く
 下手の勝で

す。第九圖面の時上手二九飛と成らずに△四
 九馬と決戦すれば▲七二銀不成△八四金▲六
 九金打で下手勝です。又第九圖面の時△五八
 銀と打てば▲五七金よる△四九馬▲七二銀不
 成△八四金▲六四馬△七二王▲六三金△八三
 王▲七三馬△九三王▲五八金引△同馬▲八四
 馬△同王▲七三銀打で詰みとなります。

第八章

飛車落

(上手三三桂受)

飛車落の上手方の戦法には種々ありますが

あります。

右指手中第八圖面の時上手七、二王と指さずに
 捨て、置けば▲六一銀△五一銀▲四三角成△
 八二金▲二一とで次に▲七四桂打順となりま

近來下手の攻撃法が研究の結果改められたので従来に比較して紛れが少くなり非常に破れ易くなりましたが然し今最も素人間に流行する上手の 三三桂受けに對しては未だ講義が乏しく下手の苦心するのを見受けますから此場合を解説する事に致します。先づ駒組迄の手順は左の通りです。

図三四歩 図七六歩 図四四歩 図四六歩 図三二金 図四八銀 図四二銀 図四七銀 図四三銀 図五六銀

と腰掛銀で指す手が飛車落の定法です、此時上手

図五四歩後四八飛

の時△六二銀或ひは△五二金△三三角などの種々に受ける手がありますが茲では尤も應用の多い

第一圖面

(圖は三三桂迄の局面)



(しな駒持手下)

面) (第一圖 留めの一つを述べます 図三六歩 図六二王 図六八王

図七二王 図七八王 図九四歩 図九六歩 図六二銀 図三七桂 図五二金 図五八金 図五三銀 図六八金スグ

図六四銀

と上つて見ませう、是れ迄は駒組ですが此の時下手方は上手の四筋が手薄になりまし

枚が離れて角、銀、桂三枚の時開戦すれば宜いのです。四枚と四枚の時にはどう攻撃しても破る事は出来ません、却つて下手の 三七桂が離れるから 三七八角を打込まれるため

第二圖面

(圖は四五歩迄の局面)



(しな駒持手下)

後手を引いて苦戦に陥ります。 図四五歩 (第二圖面) と仕掛ます 此時上手△

同歩と取つては▲同桂△四四歩（△二五桂と軽く捌けば▲二二角△同金▲三角と強く攻めて下手有利です）▲三三桂△同角▲四五歩△五三金▲六五桂と指されますから

第三圖面

(圖は四五同桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	科	王	帝	帝	帝	皇	皇	皇
	帝	帝	帝	桂	桂	桂	桂	桂
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	飛	飛	飛	飛	飛

(桂駒持手下)

同桂

と取ります

下手も順通

り

同桂

(第三圖面)

面)

と取ります

此時上手定跡では△五五歩と突いてゐますが夫では下手の調べに篋りますから(五五歩突く手は第三變化として附記します)

同七四歩

と突いて下手の仕掛けを待ちます。

同二六歩同四一四歩同一六歩同八四歩同二五歩

歩

と穏忍して指すが巧手です。(實戦上では下手方が▲三五歩△同歩▲三三桂と打つて強く攻めますがソレでは△同金▲同桂△同角▲四五銀△五五歩▲三四金△四五歩▲三三金△五四銀▲三四角△五三金と受けられて一寸後の攻

同同歩同三三桂(第四圖面)

第四圖面

(圖は三三桂打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	科	王	帝	帝	帝	皇	皇	皇
	帝	帝	帝	桂	桂	桂	桂	桂
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	飛	飛	飛	飛	飛

(しな駒持手下)

と打込みま

す、此時上

手△三一金

と引いて受

ければ▲二

八飛と振ら

れますから

第一、三

三金と指すか 第二、四五歩と指すかの二つ

です。先づ第一から説く事に致します。

第一戦法(第四圖面の場合)

めに困ります。それに上手から△七五歩の突出しなどがあつてむづかしい分れになります此の指方下手に角は手に入つても有利の局面とは申されません。上手此時△七五歩と王頭を攻める模様がありますが▲同歩△同銀の時▲六五銀△七六歩▲九七角と出られる手があつていけませんから

同八五歩

と指してあく迄も下手の手段を待ちます、此

時下手

同二四歩

と突く手が面白い趣向です。

△三三金▲同桂成▲同角▲二三金▲五一角
 ▲四四角▲同銀▲同飛▲四三歩▲五四飛▲
 五三金▲三四飛▲三三歩▲二四飛▲四六角
 ▲二七飛▲一九角成▲三二金▲七五歩▲二

面) 打で下手必勝です、以下の寄手は次の通りと
 なります。
 ▲八三王▲八一龍▲八二香▲七二銀▲七四
 王▲八二龍▲七三銀▲八三龍▲七五王▲七
 七歩▲六四王▲六六香▲五四王▲八四龍▲
 同銀▲四五角▲四四王▲三四金で詰みです

(圖は八三香打迄の局面)

(手は寄手持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍

(五歩銀駒持手下)

二飛成▲
 八四角▲
 三三金▲
 六二桂▲
 一一龍▲
 七六歩▲
 八三香

▲二六角打なれば▲
 四三歩成▲同銀 (▲同金▲三三銀不成▲四八
 角成▲三二銀不成▲五八馬▲四三銀成▲六八
 馬▲同銀▲三八飛▲六一角▲同王▲五二金▲
 七一王▲七二銀▲同王▲六一角打で詰み下手
 勝です) ▲三三銀成▲八八角成▲同金▲四四
 銀▲三四角の順で下手必勝です。
 第三戦法(第三圖面の場合)
 ▲五五歩▲同銀▲同銀▲同角▲五、四、銀打▲
 七、七、角(第七圖面)▲四、五、銀▲四、一、銀▲四、二、
 金右▲三、二、銀▲同金▲四、二、歩▲四、六、桂▲四、
 七、金右▲五、九、銀▲四、六、金▲四、八、銀成▲四、五、金

八飛▲二七銀成▲四二金▲四八角成▲同金
 ▲四、五、飛▲五、八、金右▲四、四、飛▲五、一、角▲六
 一、金▲八、四、角成▲七、一、桂▲三、三、角▲四、九、飛
 成▲五、一、金▲六、二、金▲六、一、銀(第六圖面)

第六圖面

(圖は六二銀打迄の局面)

(手は寄手持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	龍

(歩歩駒持手下)

打で次に
 ▲同金▲同
 金と追撃し
 て以下二枚
 角の威力を
 發揮すれば
 勝利確實で
 す右指手中

第七圖面

(圖は七。七。角迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将						馬	皇
		王	香	香	香	香	香	
				香	香	桂		
							步	
				步	角	步		步
				步	王	金		
						飛		
								香
								桂
								銀

(歩桂銀駒持手下)

- 先同歩
- 二二角成
- 先同金
- 四一步成
- 先四九飛
- 先五三角
- 先六二金
- 先八四桂

先同歩 先八三銀 先同王 先六二角成 (第八圖面)

迄で上手凌ぎなく下手勝です。

右指手中 上手五、四銀打の處△四五歩と取れ

第八圖面

(圖は六。二。角成迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	将					と	皇	
		馬	香	香	香	香	香	
				香	香	步		
				步	步		步	
				步	王	金		
						飛		
								香
								桂
								銀

(桂金駒持手下)

- ば▲二二角
- △同金▲四
- 五飛△四四
- 歩▲四九飛
- △三八角▲
- 四八飛△二
- 九角成▲五
- 五桂△五四

銀出る▲四四飛△四三銀打▲同桂成△同銀▲同飛成△同金▲五二銀打迄で寄筋です。第七圖面の時上手四、五銀と取らず△四五歩と指せば▲四一銀△七七角▲同桂△四二金右▲三二

打で下手勝であります。

第九章

角落 櫓組

(上手六二飛廻り下手居飛車)

角落の従來行はれて居ります戦法は、本定跡組が多かつたのですが、近來になつて櫓組が盛行し専門家は申すに及ばず殊に素人の方は好んで指してをらる、様であります。

左に解説しますのは櫓組で最も多い上手六二飛廻りの戦法です。先づ駒組迄は左の通りです。

銀△同金▲六六桂△五五銀出る▲四五飛△四四銀引▲同飛△同銀▲五四桂△五三銀引▲六五桂△五四銀▲五三桂成迄で、次に上手△四四角と打てば(△六一銀と防げば▲五二銀△同銀▲六二金△八二王▲七一銀▲九二王▲七二金△九三銀▲九五歩△八二角▲六二角成△九五歩▲九四歩△同銀▲八二金△九三王▲五四成桂で下手勝です)▲六二金△八二王▲七一銀▲九二王▲七二金迄で必死となります。

第八圖面以下 上手△七四銀(△七四王なれば▲八六桂△八三王▲七一銀打迄で必死です)▲七五桂△同銀▲同歩△七二桂▲七一銀

図六二銀▲七六歩図五四歩図五六歩図八四歩図七八銀図六四歩図六六歩図七二金

迄は角落定跡の最初の手順ですが、此時下手方▲六七銀△四二銀▲七八飛と廻れば本組になります、茲は櫓圍ひの意味で

指します。

図五三銀▲六七金図六三金▲二六歩図四二王図二五歩図三二王図四八銀

と上り敵がどう變化しても應戦する準備を致します、上手

図七四金

に戦線に活躍する戦闘員になるのです。

図四四歩図七七銀図七四歩図六八王図四二金図七八王図四三金図三六歩図三四歩図七九角図七三桂図八八王図六二飛図七八金

第二圖面

(圖は二八飛迄の局面)

一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

九四歩後
三七桂後
三三桂後
二四歩後
同歩後同
飛図二三
歩図二八
飛(第二)

と上り戦線へ繰出して來ます、此時下手

図四六歩(第一圖面)

第一圖面

(圖は四六歩迄の局面)

一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	歩	歩	歩

(しな駒持手下)

と突き 次に 四七銀の意味で中央防備の準備を致します。 図六五歩 同歩

同金図六六歩図六四金図四七銀

は五筋を堅く防備する手ですが、此の手は後

圖面)

迄で駒組が出来ました、此時上手第一、八五桂と上つて攻める手と第二、二二銀と守る手と第三、九五歩と端を延ばす手があります。

第一から説きます。

第一戦法(第二圖面の場合)

図八五桂図五七角図七七桂成図同桂図七五歩図六五歩図同金図同桂図同飛図六六歩図六一飛図七五歩図六四銀図三五歩図同歩図四五歩図同歩図三五角図四四銀図同角図同金図二四歩図同歩図五二銀図七一飛図三六桂(第三圖面)

第三圖面

(圖は三六桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇					銀	王	香	皇
						香		
						桂		
						銀		
						桂		
						飛		
						香		
						香		

(歩金駒持打下)

迄で以下
二四飛出の
含みで指せ
ば必勝です
右指手中五
七角は銀、
桂の交換と
なりませんが

△同歩▲三五角△三四歩▲四四歩△四二金▲
四三金△二二王▲二四歩△同歩▲同角△二三
歩▲四二角成迄下手勝です 上手四四銀の處
△三四歩なれば▲四四桂△二二王▲二四歩△
同歩▲二三歩△一二王▲二四飛△二二歩▲三
二桂成迄下手勝です。

第二戦法(第二圖面の場合)

以下逆襲の含みがあつて巧手です。然し此處
▲八六銀と逃げてても下手有利です、此の指方
は第五變化として一番終りに説く事に致しま
す。上手四五△同歩の處△同桂なれば▲同桂

△二二銀△三五歩△同歩△四五歩△同歩△
三五角△三四歩△二六角△六三飛△三六銀
(第四圖面)△八五桂△四八飛△五五歩△同
歩△同金△五六歩△五四金△四五桂△同桂
△同銀△同金△同飛△四四歩△五五桂(第

第四圖面

(圖は三六銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						王	香	皇
						香		
						桂		
						銀		
						桂		
						飛		
						香		
						香		

(歩歩駒持手下)

五圖面)
△四四歩
△六三桂
成△四四
銀上△八
二飛△四
二桂△五
二成桂△

第五圖面

(圖は五五桂打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						王	香	皇
						香		
						桂		
						角		
						桂		
						飛		
						香		
						香		

(三歩金駒持手下)

と受けさせ
る考へで▲
一六歩と端
を突く場合
が多い様で
すが、之れ
は大變な考
へ違ひで上

三一銀引△四二成桂△同銀△三三歩△同王
△二五桂△三二王△四四角

迄で下手勝です。
右指手中 下手三五歩の處 上手に△一四歩

手は此時必ず△一四歩と受けず他に手を指
して攻撃準備を進めますから、それに遅れな
いやうに早く攻勢を取らなければなりません
第四圖面上手八五桂と上らずに△四四銀と四

筋を極力防禦すれば▲四六歩△同歩▲四五歩△五三銀▲四八飛と廻り次に▲四六飛と歩を取つて進まれデリ／＼と壓迫を加へられます。上手五五歩は△七七桂と成つては▲同桂で以下▲六五桂或ひは▲六五歩突出しの逆襲があつて宜しくありません。上手同王の處△同金なれば(△同銀なれば▲五五桂△三五銀▲四三桂成△同王▲五四金打で勝です)▲五四桂△三一銀▲四二桂成△同銀▲四一銀打で勝です。

第三戦法(第二圖面の場合)

△九五歩△三五歩△同歩△四五歩△同歩△

三五角(第六圖面)△六三飛△三六銀△四二

第六圖面

(圖は三五角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						銀	王	皇
						桂	桂	歩
						歩	歩	歩
						歩	角	
						歩	桂	飛
						歩	銀	歩
						歩	金	歩
						歩	王	桂
						歩	香	香

(歩歩駒持手下)

△四三歩成(第七圖面)△同銀△三五角△四銀打△同角△同銀右△二四歩△同歩△同飛△二三歩△四四飛△同銀△三四金打△二

第七圖面

(圖は四二歩成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						王	王	皇
						歩	歩	歩
						歩	歩	歩
						歩	角	歩
						歩	桂	
						歩	金	歩
						歩	王	金
						歩	桂	香
						歩	香	香

(歩金駒持手下)

二一王△四三銀成迄下手勝です。右指手中 下手三五歩の處端の歩を突いて△二二銀と受けさせてから開戦すると第二變化と同様の意味となつて上手の目的通りに陥

ります、上手四五歩の處△同桂と取る手があります、これは第四變化として解説致します、第六圖面の時上手六三飛と上らずに、△三四歩なれば▲五三角△同金▲三五歩△四三金▲四四歩△四二金▲三四歩以下▲三六銀繰出しの援助と持銀の打込みの含みがあり、ますから下手必勝確實です、上手四二銀上る處△三四歩打なれば矢張り▲五三角△同飛▲三五歩△同歩▲同銀△三四歩▲四四歩△三五歩▲四三歩成△同飛▲三四金打で下手勝です第七圖面上手四三同銀と取らずに△同王なれば▲三五角△三四銀(△三二銀▲二四歩△同

歩▲同飛△二三歩▲三四金打で上手全滅で
す) ▲五三角△同飛▲三五歩△同銀▲二三飛
成るで下手必勝となります。下手二四歩以下
四、四、飛と切つて▲三四金打の追撃は最も巧

第八圖面

(圖は三五桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇				王	手	手	皇	香
		手	手	手	手	銀	角	飛
		手	手	歩	歩	桂		
		手	歩	金				
		手	歩	銀	金			
		手	王	金				
		手	桂					香

(歩歩駒持手下)

妙な寄手で
す。
第四戦法
(上手四五
歩の處)
先四五同
桂後同桂
先同歩

三五角△四二銀△三六銀△三四歩△二六角
△六三飛△五七桂△三五桂(第八圖面)△三
七角△七五歩△同歩△同金△七六歩△七四

第九圖面

(圖は八六銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇				王	手	手	皇	香
		手	手	手	手	銀	角	飛
		手	手	歩	歩	桂		
		手	歩	金				
		手	歩	銀	金			
		手	王	金				
		手	桂					香

(歩歩駒持手下)

八四銀△五五歩△六五歩△五四金△五五歩
銀(第九
圖面)△
六四金△
七七桂△
八五歩△
七五銀△
七四歩△

第十圖面

(圖は六六同角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇				王	手	手	皇	香
		手	手	手	手	銀	角	飛
		手	手	歩	歩	桂		
		手	歩	金				
		手	歩	銀	金			
		手	王	金				
		手	桂					香

(歩歩駒持手下)

五歩△六
八飛△五
五歩△六
六歩△五
六歩△同
金△六六
歩△六五
歩△六三

△四四金△七五歩△六五桂△同桂右△六四
銀△五六桂

迄で下手次に桂の活用で必勝です。

右指手中下手五七桂打は 四、六兩筋へ利か
して攻防に用ゐる巧手でありまして、上手四
五△同桂の變化には此の▲五七桂の含みで指
せば宜しいのです、第八圖面中三五桂と打た
ずに△七七桂と受ければ第三變化と同様の結
果となります。

第五戦法(第二圖面の場合)

△八五桂△八六銀△六五歩△五七角△六六
歩△同角(第十圖面)△八二飛△三九角△六

迄で位勝で下手優勢です。

右指手中第十圖面の時 上手八二飛と受けず
に△七五歩と突けば▲同銀と強く指し▲六五

第十一圖面

(圖は六六角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						王	香	皇
						香	香	
香	香	香	歩	角	金	歩	桂	
歩	歩	銀	歩	金	飛			
香	桂	王	金					香

(歩歩駒持手下)

金と進んで
來ても(七
五△同金
なれば▲同
角と取つて
以下を活躍
して逆襲の
含みで指せ

ば下手大に指よくなります) ▲三九角と引き
△七七歩と決戦しても▲六八金とよつて指せ
ば、上手指切りの形です、斯様な局面の時に
は下手方六筋を顧慮せずに強く逆襲の含みで

指せば宜しいのです。

(第十一圖面以下の破壊法)

△五四歩△五五歩△八一飛△五四歩△四二
銀引△五五角△五四金左△六四歩△五三金

第十二圖面

(圖は六三歩成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇						王	香	皇
						香	香	
香	香	香	歩	角	金	歩	桂	
歩	歩	銀	歩	金	飛			
香	桂	王	金					香

(歩歩駒持手下)

寄△六三
歩成(第
十二圖
面)
迄で上手全
減です。
以上述べ
したのは下

手槽組の戦法ですが 上手六二飛は下手の槽
を崩さうとする第一歩です。要するに下手方
の策戦としては早く三五角の活動を計ればよ
いのでありまして他の趣向に對しても同様の
方法で指せば必勝を期する事が出来ます。

第拾章

左香落(上手端飛廻り)

左香落は端の弱點から攻撃すれば宜しいの
ですが、現在は上手の研究が進んでゐるため
無闇に仕掛けて端の痛みを指しても却つて惡
くなる事がありますから、下手方に取つては

非常にむつかしい將棋で餘程細密に研究せね
ばいけません。香落の戦法には上手方 端飛
廻り 本定跡組 四間飛車 中飛 七二飛廻
りとがあります、又下手にも鳥指し 七間飛
車の力指しの戦法があります、第一、端飛車
廻りから順次説く事に致します、此戦法は一
時端の痛みを飛車で止めて置きその間に充分
に陣形を整備する指方で最近大に流行の戦略
です。先づ駒組迄の手順は左の通りです。

△三四歩△七六歩△四四歩△二六歩△三二銀
△二五歩△三三角△四八銀△四三銀△一六
歩△三五歩△一五歩△一二飛△四六歩△三

四銀[○]六八王[○]六二王[○]七八王[○]七二王[○]
 五八金右[○]九四步[○]九六步[○]五二金左[○]四
 七銀[○]八二王[○]五[○]六銀[○]七二銀

迄で陣立が出来上りました、上手の端飛廻りには下手腰掛銀で指す事は香落の常法です、
 茲で左の通り愈々戦闘を開始します。

後四五步(第一圖面)

と仕掛けます、此時上手△同歩と取つては▲三三角△同桂▲二四歩△同歩▲同飛と指されて飛車を活躍させますから

後四二飛

と受けます(此處四三金と防備する指方もあ

事が出来ません、總じて香落將棋には殊に▲二四歩△同歩と突捨て、何時でも飛車の進出を自在にして置く事が最も大切で且應用の廣い良手です。此時上手△四四角と歩を取つては▲同角△同飛▲一二角△三三桂▲五五銀△七四飛▲四四歩△二五銀▲二一角成△四二歩▲一七桂、一六銀、二四飛と活躍させますから

後二五歩

と突いて飛車の出を防ぎます、此時下手四四歩を敵角に取らしては面白くありませんから

後四八飛

と廻つて歩を擁護し且つ歩を有効に働す工夫

第一圖面

(圖は四五步迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩

(しな駒持手下)

りますが第一戦法として申述べる事に致します。

後二四歩

後同歩

と取らせた

後四四歩

と取込む手が面白い趣向で▲二四歩と突かずに直く▲四四歩と指しては飛車を活躍する

が肝要です。

後二六歩後四五銀

と交換する手が宜い手です。

後同銀後同飛後三四銀後四六飛

第二圖面

(圖は四二銀打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	銀	飛	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

と引いて二六歩に當てます。

後二七歩

成[○]四三

銀(第二圖面)

と打込みま

す、此時上手此銀を第一、同銀と取る手と第二、同金と取る手があります。第一、同銀から説きます。

第一戦法(第二圖面の場合)

第三圖面

(圖は八八同銀迄の局面)



四三同
銀同歩
成(八八)
角成同
銀(第三圖面)
四三飛
四四歩

二三飛▲三四角△二四飛▲五二角成△同金
▲四三步成△五一金▲五三と△四五歩▲五
六飛△七四角▲六二金△五六角▲七一銀△
九三王▲五六歩(第四圖面)

第四圖面

(圖は五六歩迄の局面)



以下上手
七二金の
追撃を嫌つ
て△六一金
と寄つても
同金△同
銀▲八二角
打で下手勝

です。

右指手中上手八八角成は、當然の手ですが、此處角を交換せずに、直に四三△同飛なれば▲四四歩△四二飛▲四三銀△二二飛▲三四銀と成る手がありまして、上手大に悪いのです。第三圖面の時上手四三飛と指さずに△同金と取れば▲三一角△四一步(△四一飛▲二二角成)▲四四歩△三三金▲四二角成△同歩▲三一飛△三八角▲四三步成△同歩▲二一飛成△二九角成▲四五桂△四四金▲五三桂不成△七一金▲四四飛△同歩▲六二金△同金▲七一銀△九三王▲六二銀成るで下手勝です、下

手四四歩打は敵飛を壓迫して後攻撃しやうとする含みでありまして飛車を替へずに強襲する手が最も味ひある巧手です。上手方二三飛の處△三三飛と寄れば▲一二角打△四二歩▲二二銀△三三飛▲二三角成るで以下▲二一銀の含みで下手大いに優勢です。

第二戦法(第二圖面の場合)

四三同金同歩成(同銀同三三角成(同桂同三一角(同四一步(同八八銀(同五五銀(同二二角成(同同歩(同四三飛成(同同歩(同三一飛(同四五桂(同六二金(同七一飛(同同金(同二一飛打(同六一金打(同五二銀打(第五圖面)

第五圖面

(圖は五二銀打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

と突き自王を廣くして置く手もありますが飛車の活動が狭くなります) 上手五五銀打は、敵▲一六飛と逃ぐれば△二五角打の考へです (此處五五へ打たずに四五へ打つては▲六六

迄で下手勝です。右指手中下手八八銀は△五五角の防戦であります(此處▲五六歩

飛と逃げられ、又飛車に當てずに穩に△三八角と打つて活動を計つても▲一四歩△同歩▲同香△二九角成▲一三香成△六五馬▲二三成香△五五馬▲一六飛で下手以下飛車を成込むで必勝確實です。)

第三戦法(第一圖面の場合)

先四三金後四八飛先四二飛後四四歩同金
 後四五歩先四三金後三三角成先同金後一四
 歩先同歩後四四歩先同金後三一角先四三飛
 後二二角成先三三桂後三二馬先四七歩後一
 八飛先二五銀後四七銀先二七角後一七飛先
 五四角成後二六歩先三四銀後一四飛(第六

圖面)

第六圖面

(圖は一四飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

面以下終盤迄の研究)
 先四六歩後同銀先四五歩後三四飛後同金
 五五銀後同馬後四三馬後九九馬後八八銀打

(第六圖)

迄で以下飛

車の成込みがありますから下手大いに指良いのであります。

(先手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	金	歩	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

八一

先九八馬後三四馬先三九飛後一二飛先五二
 香後四三金先五一銀後四二歩先八九馬後同
 王先六九飛成後六八金先二九龍後四一步成
 先六二銀後五二金先同金後同馬先七一金後
 第七圖面
 (圖は七七王迄の局面)
 六二馬先
 同金後同
 飛成先六
 一金後五
 二金先六
 二金後同
 金先七一
 桂後同金

先同王 先六二金 先同王 先五銀 先七一王 先六二金 先八二王 先七一角 先九二王 先七二金 先九七桂 先七八王 先八九角 先七七王 (第七圖面)

下手勝です。

右指手中上手九八馬の處△九八飛打なれば▲三四馬△八四香▲九七金打で上手指切りとなります。

第十一章

左香落 上手三三飛廻り(其の一)

(本定跡組)

此の戦法は香落定跡の本組と云つて従來か

ら用ひられてゐますが變化極りなきため今尙ほ實戰に應用されてゐます、左に説きますのは最近實戰的研究から得たものであつて此の一局で大低香落端仕掛けの要點を了解出来ることと思ひます。

先三四歩 先七六歩 先四四歩 先二六歩 先三五歩 先二五歩 先三三角 先一六歩 先三三飛 先四八銀 先四二銀 先一五歩 先六二王 先六八王 先七二王 先七八王 先九四歩 先九六歩

此時上手方▲四三銀と上り以下色々變化する指方もありますが茲では本組にする考で次の様に指します。

先八二王 先八金 先右先七二銀 (第一圖面)

第一圖面

(圖は七二銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
先	先	先	先	先	先	先	先	先
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
香	香	香	香	香	香	香	香	香
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
角	角	角	角	角	角	角	角	角
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(しな駒で手下)

是迄が駒組ですが是から戦闘開始に移ります 先一四歩 先同歩 同香 と仕掛けま

下手方に一八飛と廻られて宜しくありませんから

先一三歩

と受けて穩健主義をとります、

先同香成 先同桂

此時下手の攻方に二様あります。即ち▲一八飛と廻る手と▲一四歩と打つ手です、然し本組に對しては一八飛の戦法が最も有利です、(茲で▲一四歩と打つても深く調べると下手良き分れにはなりますが變化が多いため初心者には解り難いかと思ひます)

先一八飛 (第二圖面)

す、(下手方は上手の四一金の離れを利用して隙に乗るのであつて茲が下手の狙ひ處です、)上手段を受けずに指手もあります。が後に

第二圖面

(圖は一八飛迄の局面)

(皇嶺卦主丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	飛	桂	飛	桂	飛	桂	皇
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	角	角	角	角	角	角	角	角
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

一二三四五六七八九

(歩歩駒持手下)

此時上手△
 一一香と受
 ける手があ
 りますが▲
 一四歩△二
 五桂▲一三
 歩成△一七
 歩▲二八飛

△一三香▲二五飛△二四歩▲三五飛△一八歩
 成▲一四歩打△同香▲一五歩△三四歩▲八五
 飛△八四歩▲同飛△八三銀▲八五飛△八四歩
 ▲五五飛△五四歩▲同飛△一五香▲五三桂打

の結果となつて面白くありませんから

図一二飛

と温順に指します。此時下手

▲一四飛

第三圖面

(圖は五二金左迄の局面)

(皇嶺卦主丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	飛	桂	飛	桂	飛	桂	皇
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	角	角	角	角	角	角	角	角
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

一二三四五六七八九

(歩歩駒持手下)

と浮く手が
 面白い趣向
 であつて、
 下手香損に
 なつてゐて
 も、敵の飛
 角を牽制し
 且つ下手方

の全線の駒が攻勢に出やすい局面になつてゐ
 ますから大に指宜いのです。

図四三銀△四六歩△五一角▲一七桂△五二
 金左(第三圖面)

第四圖面

(圖は二四歩迄の局面)

(皇嶺卦主丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	飛	桂	飛	桂	飛	桂	皇
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	角	角	角	角	角	角	角	角
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

一二三四五六七八九

(歩歩駒持手下)

と堅めます
 此時下手飛
 角桂と共同
 して再び攻
 撃を開始し
 ます。
 図四五歩
 図同歩

二四歩(第四圖面)

と突きます、茲で上手第一、三四銀と指手と

第二、同角と取る手があります。第一戦法か

ら解説致します。

第五圖面

(圖は一二歩迄の局面)

(皇嶺卦主丁)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	飛	桂	飛	桂	飛	桂	皇
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	角	角	角	角	角	角	角	角
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

一二三四五六七八九

(歩駒持手下)

第一戦法
 (第四圖面
 の場合)
 図三四銀
 図三六歩
 図二四歩
 図三五歩
 図二三銀

△一六飛△一五歩△三六飛△三三歩△二二歩△一一飛△一二歩(第五圖面)△同銀△一四歩△二五桂△同桂△同歩△三四歩△同歩△一三歩成△同銀△三四飛(第六圖面)

第六圖面

(圖は三四飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩
香	桂	王	銀	金	歩	飛	歩	歩

(歩桂駒持手下)

迄で下手飛車の成込みある故大に優勢です。右指手中上手二四歩の處△二四角なれば▲

二五歩と打つ手があります、上手一五歩の處△二五歩なれば▲二二歩△一五歩▲三六飛△一一飛▲一二歩△同銀▲一四歩打で桂徳となります第五圖面の時上手同銀と取らずに△四一飛と逃げれば▲二二歩成△同飛▲一一歩成△同飛▲三四歩突きで下手大に指良くなりませす。

(第六圖面以下の指手研究)

△三三歩△同角△同角△同飛成△五五角△四四歩△九九角成△八八銀(第七圖面)△同馬△同王△六四桂△四三歩成△七六桂△七七王△五一金△四二と△六二金上△二二歩

第七圖面

(圖は八八銀迄の局面)

(手手皇皇群崎封主下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩

(歩桂角駒持手下)

成△同飛 △一三龍 △七五銀 △六八桂 △七四香 △七六桂 △同銀 △六六王

第八圖面

(圖は四六歩迄の局面)

(手手皇皇群崎封主下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩
皇	群	崎	封	主	下	歩	龍	歩

(歩駒持手下)

八圖面) △一三桂 成△同飛 △同飛 △同角 △五 六桂 △三 二桂 △四

五四香△五六歩

迄で上手全く指切り下手必勝です。

第二戦法(第四圖面の場合)

△二四同角△二五桂△四四香△四六歩(第

迄で以下 下手方龍の威力と三三角成るの活

第九圖面

(圖は四七同龍迄の局面)

一二三四五六七八九

(手駒置換維持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩
香	桂	角	歩	王	銀	金	龍	歩

(三歩桂銀駒持手下)

躍強大です
から大に優
勢となりま
す。右指手
中第八圖面
の下手四六
歩は最近研
究中發見し

める手もありますが△同歩▲九三歩△同香▲
一三桂△同飛△同飛▲同角△八六桂△六四飛
と防備されて面倒になります) △同飛▲同飛
△同角▲五六桂△三二桂と受けられて攻め難
い形となります。

(第九圖面以下終盤の研究)

△三六歩△三三角成△三七歩成△四一龍△
三八飛△五五馬△六四銀△五六馬△四七歩
△四二成香△六二金寄△五一成香△七一金
△九五歩△四八歩成△六八金寄△四七と寄
△九四歩△九二歩△五二成香△同金△九三
歩成△同歩△同香成△同香△九一銀△同王

た良手であつて敵が△同歩と取れば▲四五歩
△同香▲三三桂成るの趣向です。今迄の調べ
では茲で▲四六歩と打たずに直ぐ▲一三桂
成ると指してをります(▲九五歩と端を攻

圖七一龍△八二銀△七二龍

迄で次に▲九二歩△同王▲八四桂打で下手勝
です。

右指手中下手四一龍の處▲三七同龍と指して
も宜いのですが此の局面では三二成香を利用
して早く敵王を攻める方が優つてゐます、下
手五五馬と引き以下強く寄せて、四二成香の
追撃と九五歩突きの端崩しは最も巧妙な手筋
でありまして美濃崩しの急所です。

左 香 落 上手三二飛廻り

(本定跡變化上手二五桂跳ね)

(其の二)

本定跡變化中 下手▲一八飛と廻つた時上
手△一二飛と受けずに軽く△二五桂と活用し
た場合下手如何に對抗すべきかを説きたいと
思ひます、此の戦法は下手敵の四一金の離れ
てゐるのを利用して飛角の運用を計れば宜し
いのです。

△三四歩△七六歩△四四歩△二六歩△三五
歩△二五歩△三三角△一六歩△三二飛△四
八銀△四二銀△一五歩△六二王△六八王△
七二王△七八王△九四歩△九六歩△八二王
△五八金右△七二銀△一四歩△同歩△同香
△一三歩△同香成△同桂△一八飛(第二圖

面) 〇二五桂 〇一三飛成 〇三六歩 〇同歩 〇
四五歩 〇二三龍 〇八八角成 〇同銀 〇三六飛
〇二五龍 〇三八飛成 (第十圖面)

第十圖面

是迄は互に

ります、以下の攻方は左の通です。
〇三九歩 〇一八龍
と逃げさせて
〇二三角

(圖は三八飛成迄の局面)

飛車が成つ

と打手が順序です。上手此時飛車と角を兩方

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	香
				金	歩	龍		

(下手持駒) 王、銀、歩、桂、香

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	香
				金	歩	龍		

(下手持駒) 王、銀、歩、桂、香

て五分々々のやうです
が、上手方は四一金に
連絡が無い
ためにどう

に生きられては指悪くなる故
〇五二角 〇二四龍 〇二二香
と打つていづれかを取らなければなりません
茲で下手
〇四一角
と強く捨てる手が面白い趣向です、此時上手
△同角と取つては △二二龍 △五一銀 ▲四三香

と打たれますから

〇二四香 〇四二馬 〇二九香成と指します。

〇五二馬 〇同金 〇四四桂 (第十一圖面)

第十一圖面

以下角、

龍 ▲二四歩 △二二歩 ▲一四歩 △四三龍 ▲二二馬
馬で以下 ▲一三歩と成つてと金を作れば下手
必勝を期することが出来ます。
(第十一圖面以下の寄手)

(圖は四四桂打迄の局面)

金、銀の持

〇五一金 〇五二金打 〇六一金 〇六二銀打 〇
同金 〇同金 〇七一銀 〇五二桂成 〇六二銀 〇
同成桂 〇七一桂 〇五二銀 〇二一飛 〇九五歩
〇同歩 〇九二歩 〇同香 〇九三歩 〇同歩 〇九二歩

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	香
				金	歩	龍		

(下手持駒) 王、銀、歩、桂、香

駒を利用し
て敵王を攻
めれば必勝
です。
右指手中
上手五二角

打の處 △五二金と逃げれば ▲四五角成 △一三

第十二章

左香 落 上手四間飛車

(最近の三四銀)

近來流行の四間飛車三四銀の對抗法を説きます、先づ駒組は左の通りです。

- △三四歩△七六歩△四四歩△二六歩△三三
- 角△二五歩△三二銀△四八銀△四三銀△一
- 六歩△三五歩△一五歩△三四銀△六八王△
- 四二飛△七八王△六二王△五八金右△七二
- 王△四六歩△九四歩△九六歩△五二金左

(第一圖面)

第一圖面

(圖は五二金左迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	銀	飛	香	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	銀	金	王	銀	飛	香		
香	桂	銀	金	王	銀	飛	香	

(しな駒持手下)

是迄が駒組
でありまし
て之れから
中盤戦(戦
端開始)に
移るのです
右の指手中
上手三四銀

は端の弱點を補ひ且つ機を伺つて攻勢に出る
應用の廣い手です。

△四五歩

と仕掛ます、此の手は四筋の捌きを減殺する

意味でありまして 三四銀に對する常用の手
です(此處直に▲一四歩と端を仕掛けては△
同歩▲同香△一三歩▲同香△同桂▲一四歩△
一二飛▲二四歩△同角▲四四角△二五桂と指
されて下手筋る形となります)

△同銀

と取らなければなりません(△同歩と取つて
は▲三三角△同桂▲二四歩△同歩▲同飛と活
躍されます)

△一四歩△同歩△同香

と銀を吊上げてから端を仕掛けるのです、此
時上手△一三歩と受けては▲同香成△同桂▲

一四歩△一二飛▲二四歩△同角(△同歩なれ
ば▲一八飛と廻られます)▲四四角△二五桂
▲同飛△一四飛▲二二角成△三四銀▲一五歩
△同角▲同飛△同飛▲三三馬と指し以下銀を
取つて▲四四歩打の含みで下手大に優勢にな
ります、此の指方は精選に精しく解いてあり
ますから茲では最近の戦法を申述べたいと思
ひます。

△一六歩(第二圖面)

と打手は敵飛車の運用と香の働きを遅滞させ
尙以て一七歩成捨て、一五角出の奇謀も含ん
でゐて下手の惑ふ處です。

第二圖面

(圖は一六歩迄の局面)
一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

二六飛

は一六歩打
に對し常用
の應用です
上手此時

三四銀

と形を直し
飛角の活用

八八角成▲同銀△三三桂▲一三香成△四六歩

▲二二と△二五銀▲三二と△四五飛▲二八飛

△三六歩▲五六角打で以下▲三三との含みで

指されると不利に陥りますから(此の分れも

精選に詳しく説いてあります)

一七歩成同桂一歩

と受けます、此の手が最近研究中発見した苦心の手でありまして 下手に取つては極めてむづかしいのです。

一六飛八二王(第三圖面)

と堅壘に移します、之れ迄は實戦上に現れる形ですが 下手方は此時▲五六歩と突き以下

を計ります

一三歩

と打手は 次にと金を作つて端を崩す含みです、上手此時△四五歩と突けば▲一二歩成△

第三圖面

(圖は八二王迄の局面)
一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

六八銀▲

五七銀左と
繰上り所謂
力戦主義で
指す戦法も

あります

此の指方は

新聞手合な

にも應用の出来る解り易い破壊法です。

二四歩

と突きます此時上手△同歩と取つては▲二二歩△同飛(△同角と取つても)▲一二歩成と指されますから

同角

と取ります、

二二歩同三三桂

と上ります(此處△同飛なれば▲一二歩成△同歩▲同香成△一五歩▲二二成香△一六歩▲三一飛打で上手全滅の形となります)

一二歩成同歩同香成(第四圖面)

どで、専門家が指してをりまして初心者にはどうも變化が廣すぎてお解り難いかと思ひます、依つて左に説明する定跡は最近研究中発見した、最も紛れの少ない、如何なる初心者

第四圖面

(圖は一二香成迄の局面)

(手系駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	銀	金	銀	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

と指します
 此時上手第一、二五桂と指す手と
 第二、一五歩と打手と
 先づ第一戦

法から説きます。

第一戦法(第四圖面の場合)

二五桂、一三香、一五歩、二六飛、一七桂、一四成香、一六成桂、二八飛、二

五桂、二四成香、同歩、五九銀、七二銀、二一歩成、二六香、四八飛、三七桂成、四四飛、四三金、同飛、同飛、四四歩、一三飛、三一角、一四飛、四二角成、四九飛、四三歩成、同銀、三三角成、五二銀、四四歩(第五圖面)
 打迄で次に▲四三歩成るの含みで指せば二枚角の威力を發揮する事が出来て下手必勝です
 右指手中下手一三香は、此の局面では成香を有効に働す工夫専一です、上手一五歩は已むを得ない受け方でせう(若し△一七桂と成れば▲同飛△一六歩▲同飛△一五歩▲二六飛

第五圖面

(圖は四四歩迄の局面)

(手系駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	銀	金	銀	金
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

△一三角▲
 四六桂△四
 五銀▲二三
 飛成△二三
 角▲三四桂
 迄で上手面白くありません(上手)

手五九銀は▲四八飛廻りの含みであつて此儘飛車を遊ばしては不利益です、上手二六香打は愚圖々々して居ては▲二一とのと金を活躍され又香を打たずに△三七桂と成ると二四飛と出られますから已むなく敵飛を遮断する心算であつて此の局面では當然の手段です、上手四三金は△同飛なれば▲同角と指され幸便に敵角を活用されます。

(第五圖面以下の寄手研究)

一七桂成の處△一三角なれば▲二五桂△二二角(或ひは△二四角)▲一四歩打で下手優勢です、下手二八飛の時▲二四成香でも銀徳で有利となりますが一寸面倒な形となります、下

四七歩成、四三歩成、同銀、同馬寄、四八歩成、五三馬引、五八と、六一馬、同銀、七一銀、九三王、九五歩、同歩、九四歩

同王八五金

打迄で下手勝です。

第二戦法(第四圖面の場合)

一五歩同、二六飛(第六圖面)、七、二銀、一

第六圖面

(圖は二六飛迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

- 四歩同
- 六歩同
- 飛三
- 銀五
- 飛四
- 桂一
- 歩成四
- 三飛一

四と五、一角、二五桂、二四歩、一三桂成、三三飛、二三成桂、三四飛、一五と、三六歩、同歩、同銀、二四と、三五飛、四四角、一五飛、三六飛(第七圖面)

第七圖面

(圖は三六飛迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩

(五歩銀駒持手下)

- 迄で下手銀
- 徳の上
- 以下飛角の成
- 込みがあり
- ますから必
- 勝です。
- 右指手中上
- 手 三六歩

一、角、四、六歩(第八圖面)

第八圖面

(圖は四六歩迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩

(歩駒持手下)

- 迄で下手次
- に桂を取り
- 以下飛車に
- 當て、打込
- ひ含みで指
- せば後に三
- 歩成りを
- 生じて大に

の處突かずに置けば▲一三歩と成られる手があります、上手△一五とに對し、三六歩の處若し打たずに居ると▲一六飛と廻られます、上三六同銀の處△二六銀と逃げれば▲一六と△二七銀成▲二八歩△三八成銀▲二六と迄で、全く敵飛を牽制する事が出来ず、第六圖面上手七、二銀と指さずに三六歩と突く變化は第三として左に説きます。

第三戦法(第六圖面の場合)

三六歩同飛、三五銀、五六飛、三六歩同歩、二六銀、三五歩、一七銀成、三四歩、四五桂、一三成香、四、三飛、一四成香

優勢です。此の局面では、上手の飛角が遊び駒になつてをりますから、下手方は之れに對し、除るに側面から壓迫を加へれば必勝です。

右指手中 上手三六歩の處△四五桂なれば▲
 二五桂△三六歩▲同歩△二六銀▲三五歩△同
 銀▲三四歩△三二歩▲一三成香△四三飛▲三
 三歩成△同歩▲二三成香と寄つて下手有利で
 す。上手四三飛の處△一三同角なれば▲三三
 歩成△四一飛▲二六飛△二四角△三四と▲五
 一角△二三飛と成つて下手必勝です。上手五
 一角の處△三五角なれば▲三六飛と寄つて下
 手大に指よくなります。

第十三章

左 香 落 上手中飛

香落中飛の受方は下手方低く受けて端を攻
 める含みで指せば宜しいのでありまして、平
 手中飛の受方とは趣きを異にしてゐます、先
 づ初めの駒順は左の通りです。

△三四歩△七六歩△四四歩△二六歩△五四
 歩△二五歩△三三角△四八銀△四二銀此時
 下手敵は如何なる戦法で来るか不明ですから
 先六八王

と上つて模様を見ます(此處深く讀ずに▲五

六歩と位取りを急ぐと、今度は上手は中飛車
 に廻らず△三三飛と變化して來ます、そうす
 ると此の▲五六歩が無意味になつて下手不利
 に陥ります、斯様な點にはいつも初心者は惑
 はされ思はぬ蹉跌を生じますから能々前後を
 考へて指さなければなりません)

図五二飛

下手此時敵が中飛車と極りましたから

図五六歩

と受けます

図五三銀 図七八王

と低く受ける考へて王を早く移します(此處

敵の五三銀に應じて五七銀と上れば反つて力
 戦になります)

図六四銀 図六八銀

と上り五筋の守備を堅くする手は中飛車に對
 する當然の

第一圖面

(圖は九六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	飛	桂	香	
歩	角	王	銀	金	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	

(しな駒持手下)

- 防備です
- 先六二王
- 先一六歩
- 先七二王
- 先一五歩
- 先九四歩
- 先九六歩

(第一圖面)

の時上手第一、五五歩と突く手と第二、八二王と寄る手があります。

右指手中 上手六、二王の處強く△六五銀と進む手もありますが▲七七銀△五六銀▲七九角△二二飛▲一六歩△六二王▲一五歩△一二飛▲二四歩と突き出して下手大に指よいのです

第一戦法(第一圖面の場合)

先五五歩同歩先同銀後一四歩先同歩同香先一三歩後同香成先同桂後一四歩先一二歩後一三歩成先同歩後二四歩先同歩後二五歩後三二金後二四歩後二二歩後一五桂後二

一香後一二歩先一四歩後一一步成先一五歩後二一と先四五歩後二二と先同角後二三歩成(第二圖面)

第二圖面

(圖は二三歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香

(下手持駒香歩)

迄で下手次に金か角かいづれがをとり以下手順で飛車を成込めば必勝確實です右の指手中

上手一三歩の處 受けずに△四五歩と指せば

第三圖面

(圖は一二三同角成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香
馬	香	桂	銀	金	王	角	歩	香

(下手持駒香歩)

で下手方次に成角を攻防に備へ且つ端崩しの急所を狙へば必勝です右の指手中

面)

▲二四歩△同歩▲二二歩△同飛とよらして▲一八飛と廻り次に香成りの趣向で飛車を働かす事が出来る故下手大に指よくなります、上手二四同歩の處△同角と取れば▲一六桂打△五一角▲二三飛成りて上手全滅です。

第二戦法(第一圖面の場合)

先八二王後一四歩先同歩後同香先一三歩打後同香成先同桂後一八飛先一二飛後一四飛後三二金後一七桂後四三金後七七銀後七二銀後七九角先一一香後五八金先五一角後一六飛後二五桂後一二飛成先同香後二五桂後二九飛後一三桂成先同香後同角成(第三圖面)

下手一八飛の處▲一四歩と打つても△一二飛▲二四歩△同角▲四四角△五二金左▲一三歩成△同飛▲一七歩△一二飛▲三六桂△三五角▲二三飛成△四二飛▲三三角成るで下手優勢

四歩△同香△八六桂打で下手勝です。

第十四章

左香落

上手七筋飛車の急指しに對する

下手方の受方

上手七筋飛車急指しに對する下手方の防禦法を説きたいと思ひます。此の戦法は上手方は下手の王頭より攻勢を取る早指しであつて下手の受方に紛れが多いため、上手がよく用ひてゐます。

△三四歩△七六歩△四四歩△二六歩△五四

です(初心者は▲一八飛の戦法でも又▲一四歩の手段でもいづれを應用しても宜しいと思ひます)上手一、二飛の處△一一香と受ける手もありますが△一四飛△二五桂▲一二歩△同飛▲同飛△同香▲二一飛△五一金左▲二三飛成で上手面白くありません、上手二、五桂の處跳ねずに指すと▲一四歩と打たれる手があります。

(第二圖面以下の指手)

△五三金△九五歩△五二金△九四歩△九二歩△二二馬△六二角△三三馬△四五歩△三四馬△一七角成△九三歩成△同歩△九四歩△同歩△九三歩△同香△九五歩△同歩△九

歩△二五歩△三三角△四八銀△四二銀△六八王

迄は普通の駒順ですが、此時上手

△五三銀

と上ります、此の手は色々の策略が含まれてをりますが、下手方は未だ敵の様子が解りませんから

△七八王

と寄つて常用の手を指します。

△六四銀

此時下手敵に△五五歩と突かして位負けとなつては指悪くなりますから

△五六歩

と位を保ちます、(此の手は最も大切の手であつて五五歩と突かしては次に△七四歩△七二歩と指されて上手の目的通りに陥ります)上

第一圖面

(圖は七四歩迄の局面)

一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	將	將	王	王	飛	飛	香	香
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	角	角	角	角	角	角	角	角
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金

(しな駒持手下)

手此時
△七四歩
(第一圖面)
と突きます
△六八銀
と守ります
(此處下手

七筋の壓迫を顧慮し▲五七銀と上り△七二飛の時▲六六銀受けの考へで指すと今度は上手七二へ廻らず△五二飛と中飛に變化して来ますから下手方は斯様な策略に乗ぜらないやう

第二圖面

(圖は七九角迄の局面)



に要心が肝

要です)

- 先七二飛
後七七銀
先七五歩
後同步先
同銀後七
九角(第

面)

で上手如何に防戦しても下手以下飛車成りの順となる故大に優勢です。

右指手中下手五五歩突きの趣向は最も巧妙な指手です。上手二四同歩の處△七七角と捨て

る手がありますが(△七六銀と指しても▲同銀△七七歩▲同桂△七六飛▲六六銀△二四歩

▲同角△同角▲同飛で下手大に優勢です)▲同王△八六銀▲六八王△八七銀成▲七七歩の

時△八八銀打と追窮しても▲五八王△八九銀成▲二三歩成△七九成銀▲同金△七七成銀▲

三二と△同金▲二一飛成△四一桂▲五九金よ

二圖面)と引いて活用を計ります。

先四歩後二四歩後同歩後同角先同角後同飛先七六歩後八八銀先二三歩後四四角先三

第三圖面

(圖は四四角打迄の局面)



三角後同

角先同桂

後五五歩

先同步後

五四歩先

六四銀後

四四角打

(第三圖

る△六七成銀▲四九王△七九飛成▲二四角打

で上手負けです。

第十五章

右香落

下手 六六角上り

香落には左香落と右香落があつて以前には両方指してをりましたが近來になつて右香は殆んど指さない様になりました、其れは右香は左香より興味が少ないのと、平生研究を怠つてゐるので自然左香を指す事になるのだと思ひます。最近左香落の研究も行詰らうとし

てゐますから再び右香を指す事になるのでせう、右香落の定跡にも數種ありますが、左に説くのは初心者には極く解しい戦法です。

図八四歩 図七六歩 図八五歩 図七七角
と上り歩を替らせぬ様に致します

図三四歩 図八八銀

と指手が角替に來た時の要心です（此處▲八八銀と上らず▲二二角△同銀▲八八銀と角を手に持つて指したい處ですが△八六歩▲同歩△同飛と歩を替られ此時▲七五角と打つても△八二飛▲五三角成△九五角▲八六歩△同角▲同馬△同飛▲八七歩△八二飛と指され下手

歩切のため有利とは申されません

図四四歩

と角道を止める手は▲二二角成△同銀▲七七銀と上られ角を手に持つて指される事を嫌つたのです、何故なれば後に端へ角の打込が出來て上手面白くないのです、總じて駒落には大駒を手に持つて方下手有利です。

図九六歩 図三二銀

と上る手は左翼を充分に堅める意味であつて此處△六二銀と普通に指すと▲九五歩△八四飛▲六六角△七四飛▲七七銀△六四歩▲八六歩△同歩▲八八飛△七二金▲八六飛△八二歩

▲九四歩△同歩▲九二歩打と定跡通りになつて上手面白ありません。

図九五歩

と突いて端の弱點から攻勢を取ります

第一圖面

(圖は六六角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
歩	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	角	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(しな駒持手下)

図八四飛
図六六角
(第一圖面)
此時上手△五四飛と逃げれば▲七銀△六四

(手是駒持手下)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香
歩	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	角	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(歩駒持手下)

と指します
図八六歩
図同歩
八八飛
八二銀
八六銀
八三歩
七五銀

第三圖面

(圖は九四歩打迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

			王	香	香	香	香	香	香
九	八	七	六	五	四	三	二	一	
	香	香	香	香	香	香	香	香	香
九									
	香	香	香	香	香	香	香	香	香
			角	銀	銀	銀	銀	銀	銀
			歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
			桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂

(桂駒持手下)

⑧八二歩
 ⑧九三歩
 成⑧同銀
 ⑧四六桂
 打
 迄で以下敵
 飛を捕獲し
 て下手必勝

です。

第一戦法(第二圖面の場合)

⑧八五香⑧九八飛⑧八七香成⑧九五飛⑧八
 二金⑧九三歩成⑧同銀⑧九四歩打(第三圖
 面)

又は四六桂打いづれでも下手の勝利は確實であります。

第二戦法(第二圖面の場合)

第十六章

平手 相掛り 其の一

(最近の定跡)

平手定跡を研究するには正式とも云ふ可き相掛りの型を一應調べるのが、定跡を學ぶ順序であります。これは最近の研究では先手指方後手有利である事が確實になりましたから古い型として覚えてゐても實戦には應用が出来ないのです、依つて茲では相手方が古い戦法で来た時にどう受けるかを知る方が、初心者の爲には反つて有益であるかと思ひます

其の指方は後に譲り最初は新定跡の駒組から説きます。

⑧七六歩⑧三四歩⑧二六歩⑧八四歩⑧二五
 歩⑧八五歩⑧七八金⑧三二金⑧二四歩⑧同
 歩⑧同飛⑧二三歩⑧二六飛⑧八六歩⑧同歩
 ⑧同飛⑧八七歩⑧八四飛⑧四八銀⑧六二銀
 ⑧五六歩⑧五四歩⑧六九王⑧四一王⑧三六
 歩⑧七四歩

の時先手方五九金と寄れば従來の型でありませんが、これは王を護るに強いのですが敵を攻めるには甚だ不便です、どうしても銀を繰上つて桂と力を協せないと敵營を破る事が出来

ません（今迄の定跡では桂と歩で破つてゐますが之は後手方の受方が悪かつたからです）新定跡は左の通り指します。

図五七銀 図五三銀 図四六銀 図六四銀 図三七

第一圖面

（圖は五二金左迄の局面）

九	八	七	六	五	四	三	二	一
星				王	銀	桂	飛	星
				金	歩	歩		
				歩	歩	桂	歩	
				金	歩			
				王				
				銀				
				金				
				歩				
				歩				
				角				
				桂				
				香				

（先手持駒歩）

- 桂 図七三
- 桂 図五八
- 金 図五二
- 金 第一
- （圖面）
- と双方同じ
- 様に駒を組
- 上げますか

ら相掛りと申します、元來相掛りは相互の全部の駒が相狙んでゐますから、いざ戦となると先手後手の懸引が激しく一步を誤れば忽ち危険に陥り易いのです、随つて興味も深くはありますが餘程始終の含みを會得して置かないと容易に對局が出来ません、第一圖面迄が駒組であつて之から中盤戦に移ります。

図三五歩

と攻撃を開始致します。

図同歩

と取ります（三四歩と取込まれては不利です）

図五五歩

する巧妙な手段です、此時後手愚圖くしてゐると守る一方になつて指悪くなりますから

図五六歩

と互に桂の活用で五筋を攻め合ひます、此時先手方は、

図二二角成 図同銀

と角を交換して▲三一銀を▲二二へ上らせる手が巧妙な策略であります、此の手は五筋の防備を薄くする深算です、普通は敵から替させる方が手徳ですが、此の局面では先手方から交換して後に四五桂と跳ねた時 四二銀と防備されないやうにして置くのです。

と突きますのは角替を防いで後△三五銀の趣向と又一つには五筋から手懸りをつける計略で含みの多い良手です（此處五五歩と突かずに直ぐ△三五銀或ひは△三三歩と打つては以下角を交換される手があつて面倒な變化になります）。

図同歩

と取ります（▲同銀或ひは▲七五歩と突く手もあります）△三五銀と出られて後手宜しくありません）

図五四歩

と打手が次に桂を跳ねて敵の本營を崩そうと

先四五桂

と活用します、此時後手

後四四角

と守ります。

第二圖面

(圖は六六同歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇					王	桂	飛	皇
					歩	桂	歩	
					歩	銀	歩	
					歩	歩	飛	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
香	桂	銀	王	金	金			香

(角駒持手下)

先六六角

と受けて先

手を取りま

す、

後同角

同歩(第

二圖面)

で六五桂跳

ねを幸便に止めました。此時後手方は第一、四四歩と突く手と第二、九四歩と指して九五角打を防ぐ手とがあります、先づ第一戦法から解説します。

第一戦法(第二圖面の場合)

先四四歩、先五三桂成、先同金、先同歩成、先同銀

先九五角、先八三飛、先七三角成、先同飛、先六

桂、先七二飛、先五三桂成、先三四桂、先二八飛、

先四六桂、先同歩、先三六角、先六一銀、先八二飛、

先五二金、先三一王、先四三桂、先同金、先同成、桂

(第三圖面)

迄で先手勝です。

第三圖面

(圖は四三同成桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇					王	桂	飛	皇
					歩	桂	歩	
					歩	銀	歩	
					歩	歩	飛	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
香	桂	銀	王	金	金			香

(金駒持手先)

右指手中

後手四四歩

突きの處▲

四四角と打

てば△六七

金右▲九四

歩△六八銀

先九五歩

第二戦法(第二圖面の場合)

先九四歩、先六八銀、先九五歩、先六五歩、先同桂

先五三歩成、先同銀、先同桂成、先同金、先六二角

先八二飛、先五三角成、先六六桂、先六三馬、先五

第四圖面

(圖は五七王迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇					王	桂	飛	皇
					歩	桂	歩	
					歩	銀	歩	
					歩	歩	飛	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
					歩	歩	歩	
香	桂	銀	王	金	金			香

(歩駒持手先)

二角△七

三馬△五

八成桂△

同王△五

七金△同

銀△同歩

成△同銀

先同桂成

七九王と寄つて自王を堅くし、以下△五六金の進みで先手大に指良いのです、先手方九五角打は次に△七三角と捨て△六五桂打の趣向であつて尤も輕快な手段です。

図同王(第四圖面)

迄で後手方には銀二枚ありますが王を攻めるに前途遠慮ですから先手方全く勝です。此次ぎに敵▲八一飛なれば△五三歩打又▲八五飛なれば△五一金打で宜しいのです。右指手中先手方六八銀上りは五筋の補ひと且つ自己の懐ろを廣くして、未の憂に備へたのです。

後手方▲九五歩の處▲四四歩なれば△五三桂成▲同金△同步成▲同銀△三五銀で次に△五四歩打の含みで指されると面白くありません先手六五歩突きは△六二角打の意味であつて

強い指手です。

平手相掛り (其の二)

横歩取り (先手指よし)

横歩取りは先手方三四飛の横の歩を取るのですが、此の指手は後手方の飛車が八六に浮いてある時に効果があります。

図七六歩 図三四歩 図二六歩 図八四歩 図二五歩 図八五歩 図七八金 図三二金 図二四歩 図同歩 図同飛 図八六歩 図同歩 図同飛 (第五圖面) 此時先手方△二六飛と引けば正式の相掛りとなりませんが、敵飛車が八六に浮いてゐます

第五圖面

(圖は同飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	金	銀	桂	王	金	銀	桂	香
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	金	銀	桂	王	金	銀	桂	香
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香

一二三四五六七八九

(先手持駒歩歩)

から此の機會を狙つて横歩を取ります。元來横歩取り定跡は色々の變化が複雑してゐます

ため、初心者には解り難いかと思ひます左の指手は實戦で研究したものを改めて極く解り易く解説したものです。

図三四飛 図八八角成 図同銀 図二八歩 図同銀

第六圖面

(圖は五六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	金	銀	桂	王	金	銀	桂	香
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
角	金	銀	桂	王	金	銀	桂	香
香	桂	銀	金	王	銀	金	桂	香

一二三四五六七八九

(先手持駒歩歩)

迄で以下成角を引いて六六馬の趣向で指せば先手大に優勢です。右指手中後手八八角

後四一王[○]二四飛[○](第七圖面)

第七圖面

(圖は二四飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	飛	王	銀	金	香	桂
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬

此時後手方
▲七六飛と
寄る手と▲
八八角と交
換して▲三
三角と決戦
する手があ
りますから

第二、第三戦法として説く事に致します。

第二戦法(第七圖面の場合)

七六飛[○]二三角成[○]同銀[○]八二歩[○]同銀

成の處▲四一王と寄る指手もあります。第一戦法として次に説きます、後手 二八歩打は常用の手段であつて△二八飛と引かれないやうにして置くためです、(此の▲二八歩打で後指手よいと説いてある定跡もありますが、實際は矢張り先手有利です)先手 八七歩の處△七七角と打つば▲八八飛成ると切られて後指手よしの定跡に陥ります。後手 六四歩は持歩を利用して▲三四角を活躍させる心算であつて 六三へ角を打たれますが此の局面では愚圖くしてゐられません。

第一戦法(後手八八角成處)

八五角[○]八六飛[○]六三角成[○]五二金[○]八七歩[○]八三飛[○]八一馬[○]三三三角[○]六四飛[○]六二歩[○]七七桂[○](第八圖面)

第八圖面

(圖は七七桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	飛	王	銀	金	香	桂
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬
香	桂	飛	王	銀	金	香	桂	馬

(先手持駒桂歩歩)

同銀[○]三三角[○]二二飛[○]成[○]八八角[○]成[○]八

で先手以下

七二馬の含

みで指せば

必勝です。

第三戦法

(第七圖面

の場合)

後八八角

七歩[○]同馬[○]二四桂[○]七八馬[○]三二桂[○]成[○]五二王[○]三三龍[○]八九飛[○]成[○]四八王[○]六二王[○]五二銀[○]打[○]同金[○]八三角[○]打[○]五四歩[○]六一角[○]成[○]五三王[○]五二馬[○]六四王[○]七五金[○]五五王[○]四六金[○]四四王[○]四三馬[○]同王[○]四二龍[○]三四王[○]三三龍[○]二五王[○]三五金[○](第九圖面)

迄で先手勝です。

右指手中 後手 七八馬と指さずに▲三二金と寄れば△三三角▲四二王△三一龍▲同王△四三角成で矢張り先手勝となります。

以上述べました横歩取り定跡は實戦に應用の

多い部分を説きましたに過ぎませんが元來横歩取りの指手は後手方の飛車が八六へ浮かなければ先手指よくなりませんから其の意味から云へば複雑した變化を(殆んど一冊の本になります)執拗に調べする必要が無いと云ふ事になります、依つて後手方が横歩取りを嫌つ

(圖は三五金迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香

(三步駒持手先)

になり、依つて後手方が横歩取りを嫌つ

て▲八六歩と飛先の歩を突かずに▲二三歩と最近の定法通り受けたのにもかかはらず先手が△三四飛と力指して来た時後手方どう受けたら良いかを研究致しませう。

平手相掛り (其の三)

最近横歩取りの受方

此の指方は先手方が正式の相掛りを嫌ひ作戦上無謀を知つて、力指に來たのであつて、戦法が早指しのため後手方として、初心者が紛らはされるのであります、

図三四歩 図七六歩 図八四歩 図二六歩 図八五

歩 図二五歩 図三二金 図七八金 図八六歩 図同銀 歩 図同飛 図八七歩 図七六飛 図二三角 図同銀 図八五角 (第十圖面)

(圖は八五角打迄の局面)

(先手駒持手後)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香

(しな駒持手後)

す、先づ第一七八飛の戦法は次の通りとなり

と打ちます

は第一、七

八飛と捨て

る手と、第

二、七四飛

と穩に指手

とがありま

とがありま

ます、

第一戦法(第十圖面の場合)

図七八飛 図同銀 図七二銀 図七七銀 図六五角 図七六角 図四七角 成 図五八金 図八三馬 図六

(圖は四四歩打迄の局面)

(先手駒持手後)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香
香	桂	銀	金	王	龍	龍	香	香

(飛駒持手後)

六歩 図八、八歩 図同銀 図七八、金 図四、四歩 (第十圖面) 図四二王 図四三歩

成(先)同金(後)四四歩(先)五四金(後)四三飛(先)五一
王(後)五四角(先)同歩(後)五三飛成

迄で後手方勝です。

右指手中先手 八八歩打の處△三三銀と防備すれば(後)六八王と上られ敵に隙なく以下除々に戦はれると 飛車 金替り故、結局先手指切模様となります。

第二戦法(第十圖面の場合)

(先)七四飛(後)同角(先)同歩(後)二四歩(先)同歩(後)同歩(先)二三歩(後)二八飛(先)七二銀(後)八八銀(先)五二王(後)四八銀(先)三三銀(後)四六歩(先)七三桂(後)四七銀(第十二圖面)

第十二圖面

(圖は四七銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩

(後手持駒飛歩)

を窺つて適當の時飛車を打込めば必勝を期す事が出來ます、斯様な局面の場合には後手方は敵の攻めを待つて逆襲する含みで指せば宜しいのです。

(第十二圖面以下の指手の研究)

(先)六四歩(後)三六歩(先)七五歩(後)五八王(先)八三角(後)三八金(先)七六歩(後)一六歩(先)一四歩(後)三七桂(先)九二香(後)七七歩(先)同歩(後)同銀(先)四四

第十三圖面

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩
香	桂	王	飛	銀	歩	歩	歩	歩

(先手持駒飛歩)

銀(先)一五歩(先)同歩(先)一三歩(先)二四角(先)二五飛(先)一三桂(先)二六飛

(第十三)

圖面)

迄で以下先手方▲二二飛打を嫌つて△二二金と寄れば▲三一飛△二二金▲三二飛成△四二角▲一五香で後手方指宜く又△二二金と寄らずに△二二香なれば▲二二飛△三三銀▲一一飛成△二二金▲四五桂で後手必勝確實となります

平手相掛り (其の四)

平手相掛り後手八四歩の定跡には色々の變化があつて、全部を説明するには紙数の限りもあり。到底そればかりを説く譯にもゆきませんが、茲に是非とも説かなくてはならない

戦法があります、其れは其の一で申上げた通り、敵が古い型で指して来た時の對抗法です

図七六歩 図三四歩 図二六歩 図八四歩 図二五歩 図八五歩 図七八金 図三二金 図二四歩 図同歩 図同飛 図二二歩 図二六飛 図八六歩 図同歩 図同飛 図八七歩 図八四飛 図四八銀 図六二銀 図五六歩 図五四歩 図六九王 図四一王 図五八金 図七四歩 図五七銀 図七三桂 図四六銀 図五一金 図一六歩 図一四歩 図三六歩 (第十四圖面)

後手方の駒組が出来ましたから戦闘に移ります。

第十四圖面

(圖は三六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
龍			王	將	將	將	將	將
馬			馬	馬	馬	馬	馬	馬
銀			銀	銀	銀	銀	銀	銀
金			金	金	金	金	金	金
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩
角			角	角	角	角	角	角
桂			桂	桂	桂	桂	桂	桂
香			香	香	香	香	香	香

(先駒持手先)

七五歩と仕掛けす。

△同歩▲七七歩

と打つて豫定の攻撃を致します、

此の時先手方は此の歩を角と桂いづれて取つても防ぐ事が出来ませんが一番よい手は△同金と取る方が駒捌きが宜敷いのです。△同金の指手は左の通りとなります。

後手六五桂の戦法(後手七七歩打の處)

図六五桂 図二二角 成 図同銀 図八八銀 図八六歩 図同歩 図同飛 図八七歩 図七六飛 図八三角 図七五飛 図七六歩 図八五飛 図七四角 成 図八

第十六圖面

(圖は六五馬迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
龍			王	將	將	將	將	將
馬			馬	馬	馬	馬	馬	馬
銀			銀	銀	銀	銀	銀	銀
金			金	金	金	金	金	金
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩
角			角	角	角	角	角	角
桂			桂	桂	桂	桂	桂	桂
香			香	香	香	香	香	香

(先駒持手先)

一飛 図六五馬 (第十六圖面) 先手桂徳の上成角の活躍強大ですから大に

(先駒持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
龍			王	將	將	將	將	將
馬			馬	馬	馬	馬	馬	馬
銀			銀	銀	銀	銀	銀	銀
金			金	金	金	金	金	金
歩			歩	歩	歩	歩	歩	歩
角			角	角	角	角	角	角
桂			桂	桂	桂	桂	桂	桂
香			香	香	香	香	香	香

(先駒持手先)

後手が全く指切りです、此未先手方は△七三香打で必勝です。

第十五圖面

(圖は九一飛迄の局面)

図同金 図同角 成 図同角 図八七飛 成 図七八銀 図七七龍 図同銀 図八八歩 図六六銀 図八九歩 成 図八一飛 図九九と 図七四歩 図六五桂 図九五角 図四四角 図二五飛 図七一香 図九一飛

(第十五圖面)

優勢となります。

第十七章

相掛り (其の五)

(後手方八二飛引)

相掛り後手八二飛引に對する先手方の作戦は定跡として最近説いたのが少いため、初心者はその攻方に苦心してをらるゝやうです。左に解説する定跡は最近實戰的研究から得たもので、初心者には極めて解り易い戦法です。 図七六歩 図三四歩 図二六歩 図八四歩 図二五歩 図八五歩 図七八金 図三二金 図二四歩 同

歩 同飛 図二三歩 図二六飛 図八六歩 同歩 同飛 図八七歩 同八二飛 同四八銀 同六二銀 同五六歩 同五四歩 同六九王 同四一王 同三六歩 同五三銀 同五七銀 (第十七圖面)

第十七圖面

(先手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(後手持駒)

此時後手四歩或ひは五二金と上つて極力防禦する指方もあります。が餘りに穩か過ぎます。

から

圖六四銀

と戦線へ繰上ります、此の手は一番變化に富む指方です。

第十八圖面

(圖は五八金迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒)

圖四六銀は敵銀に應じて活躍せむが為めです(此處六六銀と受け指す手もありませんが)

角道を塞ぐため守勢に陥ります)

圖七四歩 圖五八金 (第十八圖面)

と堅めます、此時後手▲七三桂、或ひは▲五二金と上る手がありますが變化に乏しく忽ち

第十九圖面

(圖は八八銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	香	飛	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒)

壓迫を受け、る恐れがありますから 圖七五歩 同歩 同銀 と進んで銀の活躍を計

ります。

先二二角成同銀八八銀(第十九圖面)

と八筋を堅く防備します、此時後手方第一、八六歩と攻める手と策二、六四銀と引いて守る手があります、先づ第一から説きます。

第一戦法(第十九圖面の場合)

先八六歩同歩八七歩同銀四四角同
二五飛九九角成七五飛八八馬七四
歩七、一香七三歩成同香七四歩同
香同飛七三歩七五飛(第二十圖面)同
三三銀五五歩同歩五四歩同四二金同
五三銀三二金三三七桂五六歩同四五桂

第二十圖面

(圖は七五飛迄の局面)

(先手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	歩	歩	飛	香	香
歩	歩	銀	歩	歩	歩	歩	歩	歩
金	金	王	金	金	金	金	金	金
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
角	角	角	角	角	角	角	角	角
龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍

(先手持駒)

同飛四二香打

迄で先手方勝です。

右指手中 後手方八七歩の處▲八六銀なれば
△八七歩▲四四角△二五飛▲八八角成△同金

二二八

先二二銀

先五二角

同同金

同銀成

同飛五

三歩成

八二飛

八五飛

▲八七銀成△八三歩▲七二飛△八七金▲七八

銀△五九王▲八七銀成△七七歩▲同成銀△九

六角▲六二金上△七四銀▲六四金△八五角打

▲七四金△同角▲八八成銀△六三角成る迄で

先手勝となります。先手方△同銀は當然の手

段であつて此處▲四四角と打たれるのを嫌つ

て△七七銀と指せば、▲八六銀△同銀▲同飛

と取られ後に▲八七歩を活躍させます、後手

方七一香と打たず▲七二金なれば△七三銀と

打込まれます、後手七四同香の處▲八三桂な

れば△七六飛▲七五歩△六六飛▲七四香△六

三飛成るの順となります、後手方、四二金の

處▲四四銀(▲五二金と受ければ△七一角打

があります)と受けても△五三銀▲三三銀△

四五桂で本指手同様の手順となります。

第二戦法(第十九圖面の場合)

先六四銀△一六歩△九四歩△六六歩後一四

歩△三七桂△四四角△三五歩△六六角△五

五歩△三九角成△五七銀△三三銀△四八銀

△四九馬△五四歩△四四銀△六五歩△同銀

△五三歩成△同銀△五五角△六四銀△一

角成(第二十一圖面)

迄で先手香徳の上次に△二一馬の活躍があり

ますから勝利確實です。

二二九

第二十一圖面

(圖は一角成迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	飛	桂	銀	金	王	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬

(先手持駒歩歩)

右指手中先

手方三七桂

の處△三五

歩▲同歩△

五五歩▲同

歩△五四歩

▲四二金△

三七桂と指しても先手有利です。

▲三三銀の處▲五五歩(▲三五歩△五四歩▲

五二歩△六五歩▲同銀△七七桂▲七四銀△四

八銀▲四九馬△五九金▲三八馬△三九歩打で

先手優勢です) △五四歩▲五二飛△四八銀▲

四九馬△四五桂△五四飛△八六飛▲七一金△

七二歩▲七五銀△八三飛成▲八二歩△八五龍

▲八四銀△六五龍迄で先手必勝です、後手四

四銀の處▲五二歩なれば△一五歩▲同歩(▲

四四銀△一四歩▲三五銀△五六飛で次に△六

五歩打と△一三歩成る手あるので先手指宜く

なります) △一二歩▲同香△一三歩▲同香△

一二角▲三一王△二三角成▲二五歩△同桂▲

二三金△三三桂成▲同金△二二銀▲四二王△

三三銀成▲同桂△二二飛成迄で三二へ間駒す

歩△三三角△四八銀△三三銀△五六歩△五
四歩△五八金(第一圖面)

第一圖面

(圖は五八金左迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	飛	桂	銀	金	王	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬
香	桂	銀	金	王	香	馬	香	馬

(先手持駒歩)

と上つて敵
の作戦を窺
ひます。此
の手は敵が
どう來ても
變化に應ず
る常用の手
であつて、

第十八章

平手居飛車四間

居飛車四間の受方には種々ありますが一番
解易しいのは五七銀上りの戦法であつて、左
に説く定跡は従來の型を實戰的經驗から改補
したものです。

四七六歩▲三四歩△二六歩▲四四歩△二五

若し此の手を指さずに△六八王と上れば▲八
四歩△七八銀▲八五歩△七七銀▲四二角△七

八王▲三二金△七九角▲三三銀と指され相楯の形となつてはむつかしい將棋になります。

▲四二飛△三六歩▲六二王△六八王▲七二王△七八王▲九四歩△九六歩▲八二王△二

第二圖面

(圖は三七桂迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	王	銀	金	香	桂	王
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀

(しな駒持手先)

- 六飛▲七
- 二銀△五
- 七銀△五
- 二金△一
- 六歩▲一
- 四歩△三
- 七桂(第七圖面)

此時後手方第一、四五歩と角道を開ける手と第二、六四歩と指手と第三、四三銀と守る手と三つの手段があります。先づ第一、四五歩の戦法から説きます。

第一戦法(第二圖面の場合)

▲四五歩△三五歩▲同歩△二四歩▲同歩△三三角成▲同銀△五五歩▲同歩△四五桂▲同飛△三四歩△二二銀△五四角▲四四飛△二一角成(第三圖面)

迄で以下成角を發揮すれば先手大に優勢です以下の攻撃と寄手は次の通りです。

(第三圖面以下の研究)

第三圖面

(圖は二一角成迄の局面)

(三手駒毎駒持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	王	銀	金	香	桂	王
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀

(桂駒持手先)

- ▲一三銀
- △三三歩
- 成△二五
- 歩△同飛
- ▲二四銀
- △四三と
- (第四圖面)

▲金△同馬▲同飛△二四飛▲二三歩△三四飛▲二五角△三二飛成▲四七飛成▲同金▲同角成△四一飛▲二五角打△七一銀▲同王▲六一飛成▲同角△六二金▲八二王△六一金

第四圖面

(圖は四三と迄の局面)

(三手駒毎駒持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
馬	香	桂	王	銀	金	香	桂	王
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀
香	桂	王	銀	金	香	桂	王	銀

(歩桂駒持手先)

- 迄で次に
- 七一角
- 打の含みで
- 先手勝で+
- 右指手中第
- 四圖面の時
- 後手同金と
- 取らずに▲

▲二五銀なれば△四四と▲三六銀△六五馬▲二九飛△五四歩打迄で以下△五三歩と成つて先手大に指よくなります。後手四七飛成るは己むを得ない決戦の手であつて此處▲四七角と

成つては△四七龍で指切りとなります。先手四一飛打は△五八歩と一旦受けて置いても有利です、後手二五角打の處▲六九馬△同王▲五一金と打手がありますが△五三桂▲四一金△六一桂成▲四四角(▲七一金なれば△同成桂▲三二金△六二金打順となります)△六二角打迄で先手勝となります。

第二戦法(第二圖面の場合)

▲六四歩△三五歩△同歩△四六銀△四三銀△三五銀△三四歩△二四歩△三五歩△二三歩成△三四銀上△二五桂△四三飛△三三と△同桂△同桂△同飛△二二飛成△二三飛△

はこんな處にあります。

第三戦法(第二圖面の場合)

△四三銀△三五歩△同歩△四五桂△同歩△三三角成△同桂△二四歩△同歩△同飛△二

第六圖面



- 二歩△三
- 四歩△四
- 四角△八
- 八角△五
- 五歩△同
- 角△同角
- △同歩△
- 一三角△

同龍△同銀△四四角△二九飛△二一飛△七一桂△九五歩△同歩△九二歩△同香△九三歩△同香△九二歩△五銀△五三桂△六二金上△四一桂成(第五圖面)

第五圖面



- 迄で先必手勝です。
- 右指手中
- 先手九五歩
- 突きは美濃
- 崩しには最良の巧手で
- 寄手の急所

一四飛△五六歩△三三歩成△五七歩成△同金△四一飛△二五桂(第六圖面)

第七圖面



- △二四銀
- △四三と
- △同金△
- 三二角△
- 四二飛△
- 四三角成
- △同飛△
- 一三桂成

以下先手方には△五二金打と△五四歩突出しの含みある故必勝です。

第十九章

平手 相四間飛車

(腰掛銀の戦法)

相四間飛車とは相方とも、四筋へ飛車を廻つて敵飛と向逢ふのであつて、其の破壊策としては、腰掛銀の戦法が有利です。左に説く定跡は従來の戦法を改めたものです。

- △七六歩△三四歩△二六歩△四四歩△四八銀△三二銀△四六歩△四二飛△四七銀△三

- △同銀△三四飛△二三飛△三一飛成△二八飛成△六八銀上△五一步△四四角△六一桂△五三銀△七一角△四二銀成△一九龍△五一成銀△同金△同龍△六一香△五四歩(第七圖面)

迄で以下先手方△五三步と成れば寄筋となつて勝つ。

右指手中後手▲六二桂打の處▲七一桂なれば△六二銀▲同金△同角成▲六一銀打△五一馬迄で次に▲六一馬の順となつて先手必勝の形となります、後手▲六一香打處▲八四香と攻むれば△七九金と寄つて後手方全く指切りで

ます。

- △二五桂△二二角△四五歩(第二圖面)

第二圖面

(圖は四五歩迄の局面)

- 一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	香	馬	香	桂	馬	香	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒なし)

と仕掛けます、此時後手第一、同歩と取る手と第二、二四歩と突く手がありま

- △四五同歩△二三角△同飛△八八角△一二

第一戦法(第二圖面の場合)

- △四五同歩△二三角△同飛△八八角△一二

- 三角△五六銀△四三銀△三六歩△五四銀△四八飛△六二王△六八王△七二王△七八王△五二金左△五八金右△九四歩△九六歩△八二王△一六歩△一四歩△三七桂△七二銀

第一圖面

(圖は六四歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	香	馬	香	桂	馬	香	桂	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒なし)

面)是迄が駒組であつて之れから戦闘開始に移り

飛△四五銀△同銀△同飛△四三步△四九飛
 △三八角△四八飛△二七角成△二二銀△二
 六馬△二一銀生△四二飛△三三桂成△四一
 飛△三二銀成△四八馬△同金△五一飛△四

第三圖面

(圖は四二步打迄の局面)
 一 二 三 四 五 六 七 八 九

(後手持駒飛銀歩)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香

(桂角駒持手先)

迄で先手方
 桂徳となり
 且つ以下△
 四一步成り
 の活躍があ

(第三圖面)

りますから大に優勢となります。以下の寄手
 を初心者のため附記致します。

(第三圖面以下の寄手研究)

△六三金△四一步成△五二飛△四二成銀△
 六二飛△四三成桂△二九飛△五一と△一九
 飛成△六一と△同飛△五二成銀△七一飛△
 五三成桂△同金△同成銀△六一香△九五歩
 △同歩△九三歩△同香△九四歩△同香△八
 五金△九三銀△八六桂(第四圖面)
 迄で以下九四桂と跳ねて先手勝です。
 第二戦法(第二圖面の場合)
 △二四歩△四四歩△二五歩△同歩△三三角

第五圖面

(圖は二四步迄の局面)
 一 二 三 四 五 六 七 八 九

(後手持駒なし)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香

(三步駒持手先)

勝です。

第四圖面

(圖は八六桂打迄の局面)
 一 二 三 四 五 六 七 八 九

(後手持駒桂歩五)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香
桂	王	銀	歩	歩	歩	歩	歩	香

(金角駒持手先)

△三五歩
 △三二飛
 △四五銀
 △同銀△
 △同飛△五
 △四銀△四
 △九飛△四
 △五桂△二

三銀△四二飛△三四銀成△三七桂成△二四
 歩(第五圖面)

迄で先手此未△二三歩成りの含みで指せば駒
 徳の上敵飛の活動不能のため形勢大に宜く必

第二十章

平手 向飛車

向飛車とは飛車と飛車が向ひ逢ふのであ

つて、一般の定跡は後手方が二枚銀乃ち 四三銀 五三銀と並んで受けてゐますが、技では最近素人流行の後手美濃圍に向飛車に對する先手方の戦法を説くことに致します。

○
 一 飛成迄の局面
 二 飛成
 三 三三銀
 四 四四歩
 五 五五歩
 六 六六歩
 七 七七桂
 八 八八王
 九 九九歩
 一〇 一〇一〇銀
 一一 一一一〇銀
 一二 一二二〇銀
 一三 一三三〇銀
 一四 一四四〇銀
 一五 一五五〇銀
 一六 一六六〇銀
 一七 一七七〇銀
 一八 一八八〇銀
 一九 一九九〇銀
 二〇 二〇〇〇銀
 二一 二一一〇銀
 二二 二二二〇銀
 二三 二三三〇銀
 二四 二四四〇銀
 二五 二五五〇銀
 二六 二六六〇銀
 二七 二七七〇銀
 二八 二八八〇銀
 二九 二九九〇銀
 三〇 三〇〇〇銀
 三一 三一〇〇銀
 三二 三二〇〇銀
 三三 三三〇〇銀
 三四 三四〇〇銀
 三五 三五〇〇銀
 三六 三六〇〇銀
 三七 三七〇〇銀
 三八 三八〇〇銀
 三九 三九〇〇銀
 四〇 四〇〇〇銀
 四一 四一〇〇銀
 四二 四二〇〇銀
 四三 四三〇〇銀
 四四 四四〇〇銀
 四五 四五〇〇銀
 四六 四六〇〇銀
 四七 四七〇〇銀
 四八 四八〇〇銀
 四九 四九〇〇銀
 五〇 五〇〇〇銀
 五一 五一〇〇銀
 五二 五二〇〇銀
 五三 五三〇〇銀
 五四 五四〇〇銀
 五五 五五〇〇銀
 五六 五六〇〇銀
 五七 五七〇〇銀
 五八 五八〇〇銀
 五九 五九〇〇銀
 六〇 六〇〇〇銀
 六一 六一〇〇銀
 六二 六二〇〇銀
 六三 六三〇〇銀
 六四 六四〇〇銀
 六五 六五〇〇銀
 六六 六六〇〇銀
 六七 六七〇〇銀
 六八 六八〇〇銀
 六九 六九〇〇銀
 七〇 七〇〇〇銀
 七一 七一〇〇銀
 七二 七二〇〇銀
 七三 七三〇〇銀
 七四 七四〇〇銀
 七五 七五〇〇銀
 七六 七六〇〇銀
 七七 七七〇〇銀
 七八 七八〇〇銀
 七九 七九〇〇銀
 八〇 八〇〇〇銀
 八一 八一〇〇銀
 八二 八二〇〇銀
 八三 八三〇〇銀
 八四 八四〇〇銀
 八五 八五〇〇銀
 八六 八六〇〇銀
 八七 八七〇〇銀
 八八 八八〇〇銀
 八九 八九〇〇銀
 九〇 九〇〇〇銀
 九一 九一〇〇銀
 九二 九二〇〇銀
 九三 九三〇〇銀
 九四 九四〇〇銀
 九五 九五〇〇銀
 九六 九六〇〇銀
 九七 九七〇〇銀
 九八 九八〇〇銀
 九九 九九〇〇銀
 一〇〇 一〇〇〇銀

第一圖面

(圖は七二銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛

(しな駒持手先)

一 飛成迄の局面
 二 飛成
 三 三三銀
 四 四四歩
 五 五五歩
 六 六六歩
 七 七七桂
 八 八八王
 九 九九歩
 一〇 一〇一〇銀
 一一 一一一〇銀
 一二 一二二〇銀
 一三 一三三〇銀
 一四 一四四〇銀
 一五 一五五〇銀
 一六 一六六〇銀
 一七 一七七〇銀
 一八 一八八〇銀
 一九 一九九〇銀
 二〇 二〇〇〇銀
 二一 二一一〇銀
 二二 二二二〇銀
 二三 二三三〇銀
 二四 二四四〇銀
 二五 二五五〇銀
 二六 二六六〇銀
 二七 二七七〇銀
 二八 二八八〇銀
 二九 二九九〇銀
 三〇 三〇〇〇銀
 三一 三一〇〇銀
 三二 三二〇〇銀
 三三 三三〇〇銀
 三四 三四〇〇銀
 三五 三五〇〇銀
 三六 三六〇〇銀
 三七 三七〇〇銀
 三八 三八〇〇銀
 三九 三九〇〇銀
 四〇 四〇〇〇銀
 四一 四一〇〇銀
 四二 四二〇〇銀
 四三 四三〇〇銀
 四四 四四〇〇銀
 四五 四五〇〇銀
 四六 四六〇〇銀
 四七 四七〇〇銀
 四八 四八〇〇銀
 四九 四九〇〇銀
 五〇 五〇〇〇銀
 五一 五一〇〇銀
 五二 五二〇〇銀
 五三 五三〇〇銀
 五四 五四〇〇銀
 五五 五五〇〇銀
 五六 五六〇〇銀
 五七 五七〇〇銀
 五八 五八〇〇銀
 五九 五九〇〇銀
 六〇 六〇〇〇銀
 六一 六一〇〇銀
 六二 六二〇〇銀
 六三 六三〇〇銀
 六四 六四〇〇銀
 六五 六五〇〇銀
 六六 六六〇〇銀
 六七 六七〇〇銀
 六八 六八〇〇銀
 六九 六九〇〇銀
 七〇 七〇〇〇銀
 七一 七一〇〇銀
 七二 七二〇〇銀
 七三 七三〇〇銀
 七四 七四〇〇銀
 七五 七五〇〇銀
 七六 七六〇〇銀
 七七 七七〇〇銀
 七八 七八〇〇銀
 七九 七九〇〇銀
 八〇 八〇〇〇銀
 八一 八一〇〇銀
 八二 八二〇〇銀
 八三 八三〇〇銀
 八四 八四〇〇銀
 八五 八五〇〇銀
 八六 八六〇〇銀
 八七 八七〇〇銀
 八八 八八〇〇銀
 八九 八九〇〇銀
 九〇 九〇〇〇銀
 九一 九一〇〇銀
 九二 九二〇〇銀
 九三 九三〇〇銀
 九四 九四〇〇銀
 九五 九五〇〇銀
 九六 九六〇〇銀
 九七 九七〇〇銀
 九八 九八〇〇銀
 九九 九九〇〇銀
 一〇〇 一〇〇〇銀

成銀二五銀三三二と銀一五角銀三三三飛銀二九飛銀四二と銀六二金寄銀二二飛成(第二圖面)

第二圖面

(圖は二二飛成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛

(歩歩桂駒持手先)

迄で以下先手方と金を活躍して側面から壓迫を加へ且つ機を窺つて左端から攻撃すれば必

(三三銀角桂持駒香歩先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛
香	桂	銀	金	歩	歩	歩	歩	飛

(四歩金駒持手先)

九四桂
 八一王
 八二香
 九二王
 七一龍
 (第三圖面)
 で先手勝で

勝を期す事が出来ます。

す。

美濃圍ひの向飛車は王が安全のため初心者
最も應用する指方ですが、一般に行はれて
る定跡は後手方八二王の時に▲六二銀▲五三
銀と所謂二枚銀で指す戦法です。左に説明す
る定跡は普通知られてゐるものですが参考に
附記する事に致します。

- 図七六歩▲三四歩▲二六歩▲四四歩▲二五
- 歩▲三三歩▲四八銀▲三二銀▲五六歩▲五
- 四歩▲五八金▲四三銀▲三六歩▲六二銀▲
- 六八王▲五三銀▲七八王▲二二飛▲三七桂
- ▲六二王▲四六歩▲七二王▲五七銀▲九四

飛車二四飛(第四圖面)

迄で先手方飛車の威力を遺憾なく發揮すれば
必勝を期することが出来ます。

右の指手中後手同角の處▲同銀右なれば△四
五歩▲五三銀△三三歩▲同桂△八八角▲四二
銀△四四歩▲五二銀△四五桂迄で先手有利と
なります、後手同金の處▲六二金なれば△二
四歩▲同歩△二三歩▲同飛△四一角▲二二飛
△二三歩▲四二飛△七四角成で先手大に指よ
いのです。

此の外向飛車を攻めるに種々の戦法がありま
すが、右二つが紛れが少く初心者には解り易

- 歩▲九六歩▲五二金▲六六歩▲六四歩▲四
- 五歩▲七四歩▲四六銀▲六三金▲六八銀▲
- 八二王▲六七銀▲七二金▲二九飛▲七三桂
- ▲六八金▲五一角▲六五歩▲三三歩▲四四

第四圖面

(圖は二四飛迄の局面)

(三手毎陣持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	王	飛	銀	桂	香	角	飛	皇
王	飛	銀	桂	香	角	飛	皇	王
飛	銀	桂	香	角	飛	皇	王	飛
銀	桂	香	角	飛	皇	王	飛	銀
桂	香	角	飛	皇	王	飛	銀	桂
香	角	飛	皇	王	飛	銀	桂	香
角	飛	皇	王	飛	銀	桂	香	角

(三手駒持手先)

- ▲同角▲
- ▲同銀右▲
- ▲六四歩▲
- ▲同金▲二
- ▲四歩▲同
- ▲歩▲三一
- ▲角▲六二

すいと思ひます。

第二十一章

平手 石田の受方(其の一)

(先手三筋飛車に對する)

後手方の受方)

平手石田組三間飛車の定跡には數種ありま
すが、其の方々は各獨特の味ひがあつていづれ
を應用しても宜しいのです。然し初心者には
定跡では變化が多過ぎて面倒な將棋になりま
すから、茲では比較的解り易い紛れの無い最
近研究の戦法を説く事に致します。左に解説

する駒組は、先手方が三筋飛車で来た時の後手方の受方です。

先三四歩後七六歩先三五歩後二六歩先三二飛後二五歩先三六歩後同歩(第一圖面)

第一圖面

(圖は二六歩迄の局面)

一二三四五六七八九

(先手持駒あり)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香

(歩駒持手後)

の時先手方の第一、角を替へて五五へ打つ手と第二、三六飛へ指す手があまりまず。先づ第

一から解説致します。

右指手中後手方▲二六歩▲二五歩は攻勢の含みであつて飛車の進出を速にする意味です、

(此處▲二五歩と突かずに▲四八銀と上つて守戦を主とする指し方もありますが、之れは初學者には一寸面倒かも知れませんが)

第一戦法(第一圖面の場合)

先八八角成後同銀先五五角後七七角先二八角後同銀先二二銀後六五角先五二金後八三角成先七二金後五六馬先六二銀後一六歩先五四歩後一五歩先五三銀後一四歩先同歩後二四歩先同歩後一二歩先四四歩後一一步成

先同銀後二三馬先三六飛後一二歩先同銀後同馬(第二圖面)

(圖は一二馬迄の局面)

一二三四五六七八九

(先手持駒あり)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香
香	桂	飛	銀	金	王	金	銀	香

(香銀駒持手後)

す。

先三二飛後二一馬先三八飛後同金先同飛成後三一飛先同飛後同馬先三八飛後四一飛先六二王先八四桂で後手勝で

元來石田指しに對しての要點は飛角交換を恐れずに指せば宜しいのであつて、敵に飛車を

一から解説致します。

右指手中後手方▲二六歩▲二五歩は攻勢の含みであつて飛車の進出を速にする意味です、

(此處▲二五歩と突かずに▲四八銀と上つて守戦を主とする指し方もありますが、之れは初學者には一寸面倒かも知れませんが)

第一戦法(第一圖面の場合)

先八八角成後同銀先五五角後七七角先二八角後同銀先二二銀後六五角先五二金後八三角成先七二金後五六馬先六二銀後一六歩先五四歩後一五歩先五三銀後一四歩先同歩後二四歩先同歩後一二歩先四四歩後一一步成

持たしては危険を生じ目的通りに指す事が出来ないと單純に考へて交換を嫌つては反つて敵に乗ぜられる基となります。要するに石田の主眼とする點は角を手を持つて其の活用を計れば、有利に誘く事が出来るのであつて、飛車を敵に與へても味方の陣地が低く備へてありますから、決して打込まれて活躍される心配はありません。

第二戦法(第一圖面の場合)

先三六飛後三七歩先三四飛後二二角成先同銀後六五角先八四飛後四三角成先三一金後八八銀先五二金後六五馬先七四角後同馬

先同飛後七銀先三四飛後四八銀先六二王
 後六八王先七二王後七八王先九四步後九六
 歩後四二金上後六八金先三三桂後四六歩先
 六二金後三八金先五四歩後四七銀先三一銀

第三圖面

(圖は二四歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	歩	歩	歩	歩	歩	歩	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(後手持駒角歩)

二金左後
 角成先五
 飛後五六
 角先四四
 歩後二三
 面(先同)

三六銀先二五歩後三五銀先四二飛後二四歩

第四圖面

(圖は二四歩打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	歩	歩	歩	歩	歩	歩	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(後手持駒駒なし)

迄で後手方
 次に二三歩
 と成つて攻
 撃すれば勝
 算確實です
 右指手中

先手二、二角成るは石田組には尤も緊要な手段
 であつて角を手に持つて指せば敵が充分に陣
 形を堅める事が出来ないのです、若し茲で角

火に優勢です。

平手 石田の受方(其の二)

(後手石田組に對する)

先手方の受方)

前には後手方の受方でありましたが、今度は
 先手方の防禦法を説きます。

後七六歩後三四歩先二六歩後三五歩先二五
 歩後三二飛後四八銀後三六歩後同歩(第五

圖面)

此時後手方第一、五五角打の手段と第二、三
 六飛と穩に指す手があります。

を替へずに他の手を指すと△四四歩と止めら
 れ以下角銀桂全部協力して攻撃して來ますか
 ら、防禦するのになか／＼骨が折れます。先
 手三、一銀の處△五二金左と陣形を直せば▲三
 二角△一二角▲四一角成△二一角▲二四歩△
 同歩▲二三歩打と指されます(△二二銀△四
 二金を動かさずに他の手を指せば▲三六歩以
 下金を繰上げて飛車を攻められチリ／＼と壓
 迫されます。)第三圖面の時先手同歩と取らず
 に△同飛なれば▲同飛△同歩▲二一飛△三二
 金▲一一飛成△二二銀▲四一龍△三一金▲四
 四龍と引き次に▲二四龍の含みで指せば後手

第五圖面

第一戦法

(圖は三六同歩迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香

(先手駒持歩)

(第五圖面
の場合)

- 八八角
- 成同銀
- 五五角
- 三七銀
- 三六飛

四、六角、三、七、飛、成、五、五、角、二、八、龍、同、角(第六圖面)

迄で飛銀替りですから先手優勢となります。右指手中 先手四六角が面白い受方です、後

第六圖面

(圖は二八角同迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香

(後手駒持飛角)

四飛△五六角と打たれます。先手五五角は飛車を取らずに角を取つたのは好手です。後手二八龍の處▲四七龍と指せば△一一角成▲三二銀△六六馬と引き以下△二四歩▲同歩△二

手三七飛成

るは己むを得ないでせう(此處飛車を切らずに四六▲同角と指せば△同銀▲三

二歩打の趣向で指して先手大に優勢です。

(第六圖面以下の指手研究)

- 二七飛三、八金、二、五飛、成、一、六角、三
 - 五龍、四、六角、四、四龍、七、七銀、三、二金
 - 二七角、七、二銀、七、八金、四、二銀、九、六歩
 - 九、四歩、五、八王、六、二王、七、五歩、七、一
 - 王、六、六銀、三、三桂、六、五銀、五、五銀、二
 - 八角、三、一、金、九、五歩、同歩、七、四歩、同
 - 歩、九、三歩、同、香、九、二飛、四、五桂、五、六
 - 歩、六、四銀、同、銀、同、歩、八、二銀、六、二、王
 - 八、一銀、不成、七、一銀、五、五桂(第七圖面)
- 迄で以下六三銀打の含みで指せば先手勝とな

第七圖面

(圖は五五桂迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香

(先手駒持桂)

りませす。此の戦法は角二枚を活躍して敵龍を牽制する方針で指せば宜敷いのです。

右指手中 後手 二、五飛の處▲二八飛なれば△同金▲五五角△五八飛と受けられます。第二戦法(第五圖面の場合) 三、六同飛、三、七歩、三、四飛、二、二角、同

した。中飛車には角替りと銀早繰出しと四四歩止めなどの戦法があります。先づ角替り中飛車の指方から解説致します。

図七六歩 図五四歩 図二六歩 図五二飛 図二五

歩 図三二金

此の時下手

図五六歩

と位負けを防ぐ手が、中飛車には緊要な手です、(此處▲五五歩と突かして受ける戦法もありますが之れは守る一方で攻める味ひが無く又後に手詰りなどになる恐れがあります。)

図三四歩

と角道をあげた時、先手方普通は四八銀と上るのが順序ですが、此の局面では▲五五歩の早指しを含んでゐますから

図五八金右

と受けて直接王に當らない要心を致します(▲五五歩なれば△同歩▲同角△同角▲同飛の時△六六角と打つ事が出来ます)

図六二王 図六八王 図七二王 図七八王 図九四

歩 図九六歩 図六二銀 図四八銀 (第一圖面)

と指して互に王を安全の位置へ移します、元來居王では如何に強くても五分の戦ひは出来ません、此時後手角替りの趣向で次の如く指

第一圖面

(圖は四八銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩

(しな駒持手先)

します。

- 図八八角
- 成 図同銀
- 図二二銀
- 図二四歩
- 図同歩 図
- 同飛 図二
- 三歩 図二

六飛 図五五歩 図同歩 図同飛 図七七銀 図八二王 図六六銀 図五一飛 (第二圖面)

此の時先手方敵飛の見透さるゝを嫌つて△五五歩と打ちたい處ですが、是れは防戦に傾き

第二圖面

(圖は五一飛迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩
香	桂	銀	金	王	角	歩	歩	歩

(歩歩角駒持手先)

過ぎて攻め

- 味ひを失く
- し手詰りの
- 形を招きま
- すから
- 図四六歩
- と突いて五
- 筋を其儘に

放つて置きます。此の手は中飛車の受け方には最大の好手であつて次に四七銀と上り順次五六へ備へる趣向です。

図七二金 図三六歩 図三三銀 図一六歩 図一四

成駒同王[○]二一飛[○]六[○]一銀[○]五[○]一金[○]同銀[○]
先同飛成(第五圖面)

いのです。

迄で後手如何に防戦しても寄筋となつて先手勝です。

右指手中後手五、六飛の處▲二二金と寄れば△五五歩▲五一飛△八五角成▲七四角△同馬▲同步△四二角打で先手大に指よくなります。

平手中飛車の受方(其の二)

(銀早繰出の對抗策)

中飛車銀早繰出しは今最も多く素人間に流行する指方であつて、防禦策としては敵銀の繰出しに應じて先手方も銀を繰上げれば宜し

先七六歩[○]後五四歩[○]先二六歩[○]後五二飛[○]先二五歩[○]後三二金[○]先五六歩[○]後四二銀[○]先四八銀[○]後五三

第六圖面

(圖は五七銀迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	歩	歩	歩	歩	歩	香
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(先手駒持手)

此時後手第一、六四銀と上ると手第二、四四銀と上る手

圖面)

があります。

第一戦法(第六圖面の場合)

先六四銀[○]後四六銀[○]先六五銀[○]後三五銀[○]先七六銀[○]後二四歩[○]先同歩[○]後同銀[○]先八七銀[○]不成[○]後七角[○]先七六銀[○]成[○]後二三銀[○]成[○]後七七成[○]先三

第七圖面

(圖は五三銀成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	歩	歩	歩	歩	歩	香
王	王	王	王	王	王	王	王	王
銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀	銀
金	金	金	金	金	金	金	金	金
馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬	馬
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(先手駒持手)

二成銀[○]同飛[○]七桂[○]五二飛[○]先五三銀[○](第七圖面)迄で先手方此末飛車を成込むで必

右指手中後手 六五銀の處▲三四歩[○]後二四歩[○]▲同步△同飛▲二三歩△二三角成▲同金△二八飛と引けば△四一或ひは△三一へ角を打込む手があつて先手大に指よい形となります、斯様な局面で王を安全の位置へ移すため▲六二王と上れば△四一角と打たれます、といつて▲四一王と右へ圍へば却つて手簿で危険です。

第二戦法(第六圖面の場合)

先四四銀[○]後四六銀[○]先三四歩[○]後二四歩[○]先同歩[○]後同飛[○]先三三金[○]後二八飛[○]先二四歩[○]後三六歩[○]先三一角[○]後三七桂[○]先六四角[○]後六八王(第八

(後手駒持手)

勝です。

三三銀▲同桂△同桂成▲一二飛△三二成桂

▲同飛△二四飛で先手大に指よくなります。

第三戦法(第八圖面の場合)

後三五歩○先同歩○後同銀○先四五桂○後四四金○

三五銀○後二八角成○先四四銀○同歩○先同角

後四二飛○先五三銀○後四四飛○先同銀不成○後六

二王○先二二飛○後五二銀○先五三桂成○後七二王

先五二成桂○後同金○先同飛成

迄で先手方勝です。

右指手中 後手三五歩の處▲五五歩なれば△

同歩▲同銀△五三歩▲同飛△四五桂の順とな

ります。

(第十圖面以下の寄手研究)

後二二飛○先四三馬○後五五歩○先四六歩○後四二

歩○先五四馬○後六三銀○先二三歩○後五四銀○先二

二歩成○後五六金○先二四飛○後五三銀○先五七歩

後四六金○先四七歩○後四五金○先三二と後六六

歩○先同角○後六五銀○先二一飛成○後六二銀左○

三一飛○後七一金○先四二と後六四角○先四一飛

成○後六六銀○先同歩○後四四金○先八八王○後八二

王○先五二と後六三角○先六二と後四一角○先七

一と後六三角○先八一と後同角○先七一銀○後七

二王○先五二銀打(第十一圖面)

第十一圖面

(圖は五二銀打迄の局面)

一二三四五六七八九

(後手持駒飛桂歩三)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	銀	銀	皇	龍	皇	皇	皇	皇
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂	桂
香	香	香	香	香	香	香	香	香

(先手持駒金駒桂歩)

迄先手勝で

す。

四六銀と繰上つて攻撃するのが一番確實な戦法です。之れに反し七九角と引いて引角の指方や他の戦法を用ひると後に手詰りとなつて相方、手のない將棋となります。

先七六歩○後三四歩○先二六歩○後四四歩○先二五

歩○後三三角○先四八銀○後三二銀○先五六歩○五

四歩○先五八金右

と定法通り指します、此時後手

後四三銀

上る手は色々の策略が含まれてゐますが、此

の場合には中飛車に廻る為の左翼の備へです

此時先手定法通り

平手中飛車の受方(其三)

(後手四四角留めに對する

先手方の攻撃法)

中飛車の後手四四歩止めに對しては先手方

図三六歩

と指して三筋の位を保ち且つ桂の活用を計ります。

図五二飛先六八王先六二王先七八王先七二

第十二圖面

(圖は三七桂迄の局面)

(先手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	桂	飛	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒)

王先五七
銀先三二
金先三七
桂(第十
二圖面)
此時後手第
一、四五歩
と挑戦して

四六銀線上りを嫌ふ手と第二、六二銀と指す

手があります。

第一戦法(第十二圖面の場合)

図四五歩先同桂先八八角先同銀先五五歩先

第十三圖面

(圖は二二歩迄の局面)

(後手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	桂	飛	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒)

二、四歩先
同歩先五
五歩先三
七角先二
四飛先二
三歩先二
五飛先五
五角成先

成(第十四圖面)

迄で以下先手方六二銀打の含みで敵王を攻めれば必勝を期する事が出来ます。

右指手中先手二、四歩突きは飛車の進出を速かにする好手です。後手同歩も當然の手ですが

此處▲五六歩と取込めば△五三歩▲五七歩成△五二歩成▲五八と△六一とで先手勝となり

ます。後手五四角打の處▲四一飛と逃げれば△五五銀▲四五歩△四四銀で敵がどう變化しても先手大に指しよくなります。

第十三圖面後手同金の處▲四五銀と指手があります、これは第三變化として後に説きます

五三歩先五二飛先六六角先同馬先同銀先四
四歩先六五角先五、四角先同角先同銀先二二
歩(第十三圖面)先同金先四二角先四一飛先
五二歩成先同金先五三角成先四三銀先五二

第十四圖面

(圖は五二歩成迄の局面)

(先手持駒)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	銀	金	歩	桂	飛	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒)

馬先同銀
先五三歩
先六一銀
先五二金
先四三飛
先六一金
先四五歩
先五二歩

先七六歩後三四歩先二六歩後四四歩先二五歩後三三角先四八銀先三二銀先五六歩後五

四歩先五八金右後四三銀先三六歩後六二銀

先六八王後五三銀先七八王後三二金先六八

第一圖面

(圖は七二飛迄の局面)

(先手駒持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香

(先手駒持手)

銀後七四
歩先七七
銀後六四
銀先七九
角後七二
飛(第一圖面)

此の時先手

方王頭の壓迫を顧慮せず左の如く指しま

す。
先二四歩後同歩先同角後同角先同飛後二三

歩先二六飛後七五歩先同歩後同銀

と後手方豫定通り攻撃して來ます、此時先手

先五五歩

と突き捨てる手が飛車と角の威力を充分に發

揮する最良の巧手です。

先七六歩先八八銀(第二圖面)

此の時後手方第一、六四角と打つて攻撃の
含みで指す手と第二、六四銀と引いて五筋の

防備と飛筋を通す指手とがあります。

八二飛

第三圖面

(圖は七二歩打迄の局面)

(先手駒持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香

(先手駒持手)

(第四圖

面)
迄以下六

一飛の趣向

で指せば先

手勝です。

右指手中

第二圖面

(圖は八八銀成迄の局面)

(先手駒持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香
香	桂	王	飛	銀	金	銀	王	香

(先手駒持手)

(第二圖面

の場合)

先六四角

先三五歩

先五五角

先三七角

先六四銀

先五五角後同歩先七三歩(第三圖面)後同桂
先七四角後六五桂先六三角成後七七角先七
四歩後八八角先同王後七七銀先九八王後六
二飛先七三歩成後六三飛先同と後七五銀先

先手三五歩突きは飛車を利かして攻防に使ふ
意味であつて△五五歩突出しの含みと同様の
手段です、第三圖面の先手方の七三歩打は飛
銀桂三つの利きを減殺する意味です、後手

第四圖面

(圖は八一飛打迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	飛	等	王			料	皇	
						等	料	
						料	料	
						歩	歩	
						飛	飛	
						歩	歩	
						金	銀	
						金	桂	香
						桂	香	

(歩角駒持手先)

同桂の處▲
同飛或ひは
▲同銀と取る手と▲八
二飛と逃げ
る手があり
ますが、之
れは第三戦

法として後に説きます。
第二戦法(第二圖面の場合)

▲六四銀(先七三歩)同銀(先三五歩)▲六四銀
▲七三歩(先同銀)▲三四歩(先六四銀)▲七三歩

▲同銀(先五四歩)▲五二金(先七六飛)▲二八角
▲三七角(先同角)▲同桂(先二八角)▲三三歩(先同桂)
▲三四歩(先四五桂)▲一五角(先六一王)▲三三歩(先同四)
▲一四歩(先四三)▲一五歩(先五二)と

第五圖面

(圖は三三歩成迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	料					王	皇	
						と	料	
						銀	料	
						金	歩	
						歩	歩	
						飛	歩	
						歩	銀	王
						金	桂	香
						桂	香	

(しな駒持手先)

▲同王(先)
五三金(先)
四一王(先)
四五桂(先)
同歩(先四)
三銀(先三)
一王(先四)
四桂(先三)

第三戦法(第三圖面の場合)

▲八二飛(先三四歩)同銀(先五四角)▲六二飛
▲三五歩(先第六圖面)

第六圖面

(圖は三五歩迄の局面)
一 二 三 四 五 六 七 八 九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	料					料	皇	
						等	料	
						歩	歩	
						角	歩	
						歩	歩	
						飛	歩	
						歩	銀	王
						金	桂	香
						桂	香	

(歩駒持手先)

打で先手以
下三二角拾
ての順で優
勢となりま
す、此末先
手方は七六
飛と指せば
安全です。

右指手中後手 八二飛の處△同飛(▲同銀な

三金(先三四歩)▲四四金(先三三歩)成(第五圖面)

迄で以下先手方七三飛切りと、二六飛寄りの
手がありますから必勝となります。
右指手中後手四、五桂の處三四同銀なれば△五
六角打があります、後手六四銀は三度も同様
の手でありましたが、此處▲五二金なれば△
七六飛▲二八角△三七角▲同角△同桂▲二八
角△三三歩成▲同桂△三四歩打で第二變化本
指手通りとなります、後手五二金の處▲六四
銀なれば(先五三歩)成▲同銀△六五角と打たれ
る手があります。

れば△六五角打があります(なれば△八二角と打つて先手有利です。

第二十四章

平手 半槽圍ひ

從來の矢倉組は定跡にある通り相槽と云つて双方同じ様に組み上げてゐますから、結局は先手が仕掛けさへすれば破れる様に出てをりますが、實戦上ではなか／＼應用が困難で、近來の研究でも先手後手の利害得失が非常に面倒になつてゐます。そこで最近比較的變化の少い半槽と云ふ棋聖天野宗歩の原作を

初心者に解り易しく再び改良したものを案出したのですが、此の指方は先手方が初め歩を一つ手に入れて其の徳を計るのであつて戦法としては確實な指方です。

第一圖面



- 後七六歩
- 後三四歩
- 後二六歩
- 後四四歩
- 先二五歩
- 後三三歩
- 後四八銀
- 後三二銀

後五六歩 後五四歩 後五八金 右 後八四歩 後七八銀 後八五歩 (第一圖面)

此の時先手方△七七銀と上れば▲四二角△七九角▲三三銀と防がれて角を交換し歩を持つ事が出来ませんから

後七七角

と上つて半槽組の趣向で指します。

- 後三二金 後六八角 後四二王 後七七銀 後四三金 後二四歩 後同歩 後同角 後二三歩 後三三歩 成 後同王 後六八王 後二二王 後七八王 後六二銀 後三六歩 後三三銀 後四六歩 後三二金 後六六歩 後七四歩 後六七金 (第二圖面)

第二圖面



此時後手方六四歩と指す手もありますが之れは攻撃力微弱で戦略としては余りに姑息な手

段です。後五三銀 後三七桂 後六四銀と繰出して活躍致します(此處六四へ出でず六四歩と指す手もありますが六三角と打た

れる手があつて後手面白くありません。

○六八金△九四歩○九六歩△一四歩○一六歩(第三圖面)

第三圖面

(圖は一六歩迄の圖面)

(先主將帥陣圖)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	歩	歩	歩	歩	桂	飛	香
王	銀	金	銀	王	金	銀	王	銀
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金

(先打駒角歩)

方第一、七五歩と仕掛ける手と第二、七三桂

迄で駒組が出来上りま
したから之
れから愈々
中盤戦に移
るのです、
第三圖面の
場合、後手

と手待ちする指方とがあります。

第一戦法(第三圖面の場合)

○七五歩△六五歩○七六歩△同金○七三銀
○一五歩△同歩○一三歩△二四銀△四五歩

第四圖面

(圖は一四同飛迄の局面)

(先主將帥陣圖)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	歩	歩	歩	歩	桂	飛	香
王	銀	金	銀	王	金	銀	王	銀
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金

(先手駒角歩)

△同歩
△四四歩
△四二金引
△六六角
△三三桂
△三五歩
△同銀
△一五香

一四歩△同香△一三香△一八飛△一四香△
同飛(第四圖面)

迄で次に三四飛の含みで指せば大に優勢です
右指手中後手七六歩の處▲六五同銀なれば△
七五歩▲七六歩△八八銀と引かれ次に△六六
歩打の手があつて銀損になります、先手一五
歩と突く手は槽崩しには最上の巧手です。後
手二四銀の處▲一三同香と取れば△一四歩
▲同香△二五角▲一三王△一四角▲同王△一
五香▲同王△一九香▲一六歩△二五飛▲一四
王△一六香で詰みになります。
(第四圖面以下の寄手研究)

第五圖面

(圖は三四歩打迄の局面)

(先主將帥陣圖)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	歩	歩	歩	歩	桂	飛	香
王	銀	金	銀	王	金	銀	王	銀
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金
銀	金	銀	王	金	銀	王	銀	金

(先手駒角歩)

▲二四銀と引いても△一三歩▲一一步△一九

香打で後手全滅です。

第二戦法(第三圖面の場合)

△七三桂△四五歩△八四飛△四四歩△同金

△一五歩△同歩△一三歩△二四銀△六二角

第六圖面

(圖は六五歩迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

(先手毎駒持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	金	銀	飛	桂	王	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒歩)

後手八四飛

右指手中

勢です。

迄で先手優

面)

(第六圖

△六五歩

△四三金

の處▲四五同歩なれば△六五歩▲五三銀(▲同桂なれば△八八銀の次に▲六六歩と打たれる手があります)△四五桂▲四四銀右△三三桂成▲同桂△四五歩▲同銀△四四歩▲四二金△四三銀▲同金△同歩成▲同金△四一角で後手で全滅です。後手四四同金の處▲同銀なれば△一五歩▲同歩△一三歩▲同香(▲同王なれば△六五歩突く手があります)△一四歩▲同香△二五角▲一三王△一四角▲同王△一五香で先手勝となります。

第二十五章

平手 櫓早崩法

櫓早崩しの指方は變つた戦法の一つとして知られてゐますが、之れは敵が櫓に組めば崩しとなり又美濃に組み四間飛車で来れば相四間崩しになるのです、元來力指しのため指切りとなる嫌ひがありますが、能くその「コッ」を會得すれば必勝を期す事が出来ます、最近研究の櫓崩しの戦法は左の通りです

△七六歩△三四歩△二六歩△四四歩△四八

銀△三二銀△四六歩(第一圖面)

第一圖面

(圖は四六歩迄の局面)

一 二 三 四 五 六 七 八 九

(先手毎駒持手)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	王	金	銀	飛	桂	王	香
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(先手持駒歩)

△三三銀

△四七銀△五四歩△三六歩△五二金右△五六銀△三二金△四八飛△四三金右△三七桂△八四歩△七八銀△八五歩△七七角△六二銀△六八王△三一角(第二圖面)

五圖面

第五圖面

(圖は七五桂迄の局面)
一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇
香	桂	王	銀	馬	馬	馬	馬	皇

迄で先手勝
です。
右指手中
後手四二金
引の處▲五
三金と寄つ
て四二へ歩
を受ける考

以上説いた櫓組も忽ち崩された第一の原因は後手方 三一角と引いた爲めです。然し後手方としては三一へ引かず他の手を指した處が結局は引かなければ敵を攻める事が出来ず、又一つには王を安全の位置へ移す事も出来ません。つまり後手方が敵の奇法に對してよく注意せずに櫓に組むだのが悪いと申す外はありません。

へで指しても△五四銀▲同金△四三步成▲三七角成△三三角成▲六一王△三三馬で先手必勝です。

第二十六章

平手 腰掛銀

腰掛銀とは 五六或ひは 五四へ銀を上る指方で中央へ腰を掛ける意味から出た名稱だと思はれます。平手には相四間と櫓早崩しとに應用されてゐますが、一般に知られてゐる腰掛銀とは相居飛で初め角を替り矢倉に組む時用ひらるゝ指方です。此の戦法は後手方相掛りを嫌つて角を替へるのであつて始終角打を狙つて居りますから、先手方は其の點を要心して指さなければなりません。左に解説す

る戦法は故渡瀬六段が案出したものに實戰的研究から改めたものです。

- 図七六歩 図八四歩 図二六歩 図八五歩 図二五歩 図三二金 図七七角 図三四歩 図八八銀 図七角成 図同銀 図二二銀 図四八銀 図三三銀 図五八金 図六二銀 図五六歩 図六四歩 図六六歩 図六三銀 図六七金 図五四銀 図六八王 図五二金 図七八王 図七四歩 図五七銀 図四二王 図四六銀 図四四歩 図五五歩 (第一圖面)

此時後手

図四三銀

と引いて櫓圍ひを堅全にして王を護ります、

第一圖面

(圖は五五歩迄の局面)

一	香	桂	飛	王	銀	金	香
二	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
四	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
五	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
六	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
八	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
九	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(角駒持手先)

すぐ

で王を完全に擁護する事が出来ました、此の組方を半橋、俗に天野矢倉と稱して角を替へた時普通の櫓組よりも此の方が角の打つ場が

(此處四三

金と備へるために六三銀と引いては駒の働きが薄くなり(六八金

なく又端の痛みも少ないのです。

三王(三六歩)二王(五七銀

と駒を立直して廣く活用致します。

九四歩(九六歩)一四歩(五六銀)七三

第二圖面

(圖は四六歩迄の局面)

一	香	桂	飛	王	銀	金	香
二	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
四	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
五	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
六	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
八	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
九	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(角駒持手先)

是迄が駒組(初盤)であつて之れから戦闘(中盤戦)に移

第三圖面

(圖は四三歩成迄の局面)

一	香	桂	飛	王	銀	金	香
二	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
三	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
四	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
五	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
六	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
七	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
八	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩
九	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩

(金駒持手先)

迄で先手勝です。右指手中後手四三金の處(五五歩)と打てば(三四歩)五六歩(三

るのです。

此時後手方第一、五四歩と突く手と第二、六五歩と突いて三九角打の含みに指す手とがあります。

第一戦法(第二圖面の場合)

- 五五歩(四四歩)同銀(三五歩)四三金(五五歩)六三銀(四五歩)三五歩(四二四歩)同歩(四四歩)同銀(七一)角(四二)飛(四四)角(同)金(五三)銀(四三)飛(二四)飛(二三)歩(四四)銀(成)二四歩(四三)成銀(同)金(四四)歩(四二)金(二三)歩(同)王(六)一飛(四)一角(四三)歩(成)第三圖面

第二戦法(第二圖面の場合)

- 三歩成(同)金(二四)歩(同)歩(二五)歩(同)歩(三七)桂(一三)桂(二四)歩(打)以下(三七)一角(打)の趣向で後手潰滅となります。

▲六五歩先同歩▲三九角先三八飛▲八四角成▲六六角(第四圖面)▲八三馬▲二八飛▲七五歩先

(圖は六六角迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	飛	馬	王	飛	馬	王	飛	皇
香	桂							香

(歩駒持手先)

四歩▲同馬▲四銀▲七七歩▲八八王▲四歩先二四歩▲同歩先二五歩▲同歩四六歩先五

- 五桂▲七
- 六銀▲六
- 四歩先三
- 七桂▲七
- 二馬▲四
- 五歩▲同

五馬▲同桂▲四七歩成▲三三桂成▲同桂▲二四歩▲同二五歩▲同四四歩▲同五銀▲二三銀▲同金▲同歩成▲同王▲四一角▲三二桂▲二四歩▲

(圖は三二角成迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	飛	馬	王	飛	馬	王	飛	皇
香	桂							香

(桂金駒持手先)

が、ありますから、先手勝となります。

- 二四歩▲
- 同王▲三
- 二角成
- 面)
- (第五圖
- で次に▲一
- 六桂打と▲
- 二三金打と

順となります。

第二十七章

平手 棒銀の受方

右指手中 第四圖面の時▲八三馬と引かずに ▲六六同馬と交換すれば△同金▲二七角△三九飛▲三五歩△同歩▲六三角成△三七飛▲八一飛△七五歩▲同歩△同金▲七四歩△六四金▲七二馬△七四金迄で以下△七五金と引いて七四歩打の含みで指せば先手大に有利となります。先手二四歩と二五歩の繼歩は角筋を利用し二筋を崩す趣向で最も宜敷手筋です。後手 七五歩突きは馬の援助を得て桂を活躍する含みであります。此處▲七二馬と引けば△七五歩▲六三馬△七四歩▲同馬△七六銀と上り次に△七五銀▲八三馬△七四歩打の

棒銀とは飛車先へ銀を繰上つて攻める指方で俗に馬鹿銀と云ひよく素人の方が指してをりますが、策略が單純のため、よく受けられると銀が遊び駒になつて大變指悪くなります。然し初心者は急指しのため稍々もすると受損する事が多いのです。此の防禦法は銀を替はせないやうに 八八銀と引く趣向で指せば宜しいので勝敗は銀と銀を替へると替はせない

とにありますが。

図七六歩△八四歩△二六歩△八五歩△二五歩△三二金△七七角
と上り歩を替らせないやうに受けます。

第一圖面

(圖は七八金迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛

(しな駒持手先)

此の時後手
と指します
角のため
九五歩と端
から攻撃が
出来ません

△八三銀
△八八銀

図七八金(第一圖面)

と棒銀受けの要心を致します。

△八四銀△四八銀△九四歩△九六歩(第二圖面)

第二圖面

(圖は九六歩迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛

(しな駒持手先)

此の時後手
と指します
角のため
九五歩と端
から攻撃が
出来ません

△八三銀
△八八銀

か第二、七四歩と突いて角頭から攻めるかの二つの戦法であります。

第一戦法(第二圖面の場合)

△三四歩△二二角成△同銀△二四歩△同歩

第三圖面

(圖は九七歩打迄の局面)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛
香	桂	飛	銀	金	王	香	桂	飛

(歩角駒持手先)

△同飛△
△二三歩△
△二八飛△
△九五歩△
△同歩△同
△香△九七
△歩(第三圖面)

で完全に防禦が出来ましたから、如何に敵が猛撃を企て、も策の施す方法がありません、此の局面では所謂▲八四銀が馬鹿銀となつて働きがとれなくなりました、即ち銀を引けば△九六歩と突かれて香損を招き又▲九七香成ると強撃しても△同銀(△同香と取ると▲九六歩△同香▲九五歩△同香▲同銀と進撃されて棒銀の目的通りに筋ります)▲九五銀△八八銀と軽く受けられて之又香損となります。右指手中 先手二、二角成るは棒銀の受方には最も緊要な手段であつて、ウツカリしてゐると敵から▲七七角と替へられ△同銀と取れば

第四圖面

(圖は五五角迄の局面)

一二三四五六七八九

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	香	馬	王	香	馬	桂	皇
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香

(しな駒持手先)

- 四歩△二
- 八飛△二
- 三歩△七
- 五歩△同
- 銀△二二
- 角△同銀
- △八三角
- △八二飛

△七四角成(第五圖面)

で先手以下成角の威力を發揮すれば大に指よ

いのです。

右指手中 後手七五歩の處△五五角出を嫌つ

▲九五歩△同歩▲同香△九七歩▲同香△同香
 ▲九六歩△同香▲九五歩△同香▲同銀と指さ
 れ次に▲八六歩突きで銀を交換されると以下
 ▲九八へ手駒を打込まれて棒銀の作戦に倣つ
 て終ひます、斯様な形となつては相手方より
 遙に強くつても到低受切れるものではありません
 せんから初心者はよく此の意味合ひを含み、
 我から替へて△八八銀と備へて置かなければ
 棒銀を受ける事が出来ません。

第二戦法(第二圖面の場合)

△七四歩△五六歩△七五歩△五五角(第四

圖面) △九二飛△二四歩△同歩△同飛△三

第五圖面

(圖は七四角成迄の局面)

一二三四五六七八九

(先手駒持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	香	馬	王	香	馬	桂	皇
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香

(先手駒持手先)

- て▲五四歩
- と指せば△
- 六八角▲三
- 四歩(△七
- 五歩なれば
- △四六角と
- 上つて同意
- 味になりま

す) △二四歩▲同歩△同角▲四一王△四六角
 ▲七三銀△二四歩打で次に△二三歩成る順と
 なつて先手必勝となります。第四圖面の時後
 手九二飛と指さずに▲七三銀又は▲七三桂な

れば△七五歩を取られて終ひます。

第三戦法(第一圖面の場合)

△七四銀△八八銀△六五銀△二四歩△同歩△

第六圖面

(圖は二六飛迄の局面)

一二三四五六七八九

(先手駒持手先)

九	八	七	六	五	四	三	二	一
皇	桂	香	馬	王	香	馬	桂	皇
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香
香	桂	馬	王	香	馬	桂	皇	香

(先手駒持手先)

- 同飛△二
- 三歩△二
- 六飛(第
- 六圖面)
- 迄で完全に
- 受けられ棒
- 銀の活躍を
- 止める事が

出来ました。

(第六圖面以下の指手研究)

△三四歩△六九王△七七角成△同銀△四、四角△二八飛△七六銀△同銀△九九角成△七

第七圖面

(圖は六六歩突く迄の局面)



歩突く含みて指せば銀徳の形となり且つ後に

- 二銀△四
- 七桂△二
- 六角△六
- 四香△六
- 六歩(第七圖面)
- 迄以下先
- 手方△六五

△七四歩打の趣向で角を働かせば大に優勢であります。

右指手中 第三變化中の先手四八銀の處▲六五銀の進みを嫌つて△六六歩と止めると▲六四歩△五八金▲三四歩△六七金▲六二飛で次に▲六五歩と突かれると崩されます、後手四角打の處▲五四銀或ひは▲二二銀と穩に指したい處ですが駒順が遅れてゐるため先手方に充分に組まれて面白くありませんから、後手六五銀を利用して決戦策を取つたのです、後手六四香は己むを得ない防備です、此處▲八四飛なれば△八五銀▲四四飛△八八銀▲八

第二十八章

筋違ひ角

九馬△七四歩打で先手有利となります。元來將棋は相手方が定跡以外の奇謀(無謀)で指した時、それが棋法に合つてゐるかどうかと云ふ事を見分けるのが最も大切であつて、定跡を覚えてから、よく敗けるなどと言ふのは余りに定跡に抗泥し依頼心を起した結果、敵がどう駒を運んで來ても型通りにさへ組めば勝てると思つて深く讀まずに指すからです。棒銀指しに對しても此點を充分に含んでよく熟考の上對局すれば決して間違はありません。

筋違ひ角とは角が普通の角道(普通は五五へ通つてゐます)と違つた方向へ活躍する指方であつて、殊に敵の八筋と九筋を狙つてをります。此の指方は初め歩一つ利しますが適當に受けられると、全く角の働きが止まりそれに敵に角を持たれてゐるだけ、どうしても後に持角の徳を發揮されて非常に指悪い形を招きます。最近研究の筋違ひ角の受け方は左の如くです。

● 七六歩 三四歩 二六歩 八八角 同銀
 ● 六五角 五八金 七六角 四八銀 五四
 ● 角 五五六歩 四四歩 五五歩 四三角 七
 ● 八金 八四歩 六九王 八五歩 七七銀

● 六二銀 四七銀 七四歩 六六歩 七五歩
 ● 六七金 三二金 五六銀 四一王 四八
 ● 飛 (第一圖面)

第一圖面

(圖は四八飛迄の局面)



九四歩 九
 七九王 九
 八八王 八
 二二銀 二
 四六歩 四
 三三銀 三
 三六歩 三

と廻つて角頭を狙つて四筋から攻撃すれば先
 手大に優勢となります。圖面の形では筋違角
 が五二へ引かなければならない局面になつて
 ゐますから其の活動力が全く弱く且つそれに
 反し先手方は攻撃し易い形になつてゐるば
 かりでなく、角を手に持つてゐますから適當
 の時機に活用すれば必勝を期する事が容易で
 あります。

● 大阪屋號發行將棋書類目錄 ●

名人小野五平校閱 將棋新報社編	名人關根金次郎共講 八段土居市太郎	八段花田長太郎著	大橋、伊藤兩家元 將棋新報社編輯	天野宗步著	名人大橋宗英著	七段福島順喜著	將棋新報社編	名人伊藤看壽著	名人關根金次郎閱 將棋新報社編
● 將棋虎之卷 (跡定)	● 將棋定跡講義 (跡定)	● 將棋新定跡 (跡定)	● 將棋秘傳 (跡定)	● 將棋精選 (跡定)	● 將棋步式 (跡定)	● 將棋絹篩 (跡定)	● 將棋講義錄 (跡定)	● 將棋圖巧 (跡定)	● 將棋定跡解 (跡定)
和裝四六判 全一冊 定價金六拾錢 送料金四錢	和裝四六判 全一冊 定價金八拾錢 送料金四錢	和裝四六判 全一冊 定價金壹圓五拾錢 送料金六錢	和裝四六判 全一冊 定價金八拾錢 送料金四錢	和裝四六判 全一冊 定價金五拾錢 送料金二錢	和裝四六判 全一冊 定價金四拾錢 送料金二錢	和裝四六判 全一冊 定價金四拾錢 送料金二錢	和裝四六判 全三冊 定價金壹圓八拾錢 送料金十二錢	和裝四六判 全一冊 定價金四拾錢 送料金四錢	和裝四六判 全一冊 定價金五拾錢 送料金四錢